

平成 24 年度

当初予算資料

市長公室

平成24年度 当初予算会計別総括表

単位:千円、%

区 分		平成24年度	平成23年度	増 減	対前年度比
一般会計当初予算額①		14,138,449	12,127,189	2,011,260	16.6
特 別 会 計 ②		3,555,326	3,411,704	143,622	4.2
特 別 会 計 内 訳	国民健康保険事業	2,802,078	2,704,009	98,069	3.6
	後期高齢者医療事業	538,082	496,932	41,150	8.3
	青年の家事業	6,270	6,122	148	2.4
	市有林整備事業	30,701	28,714	1,987	6.9
	紀和診療所事業	97,049	97,928	△ 879	△ 0.9
	紀和地区水道事業	81,146	77,999	3,147	4.0
水道事業会計③		507,907	574,100	△ 66,193	△ 11.5
合計(①+②+③)		18,201,682	16,112,993	2,088,689	13.0

一般会計歳出予算の状況

(単位：千円、%)

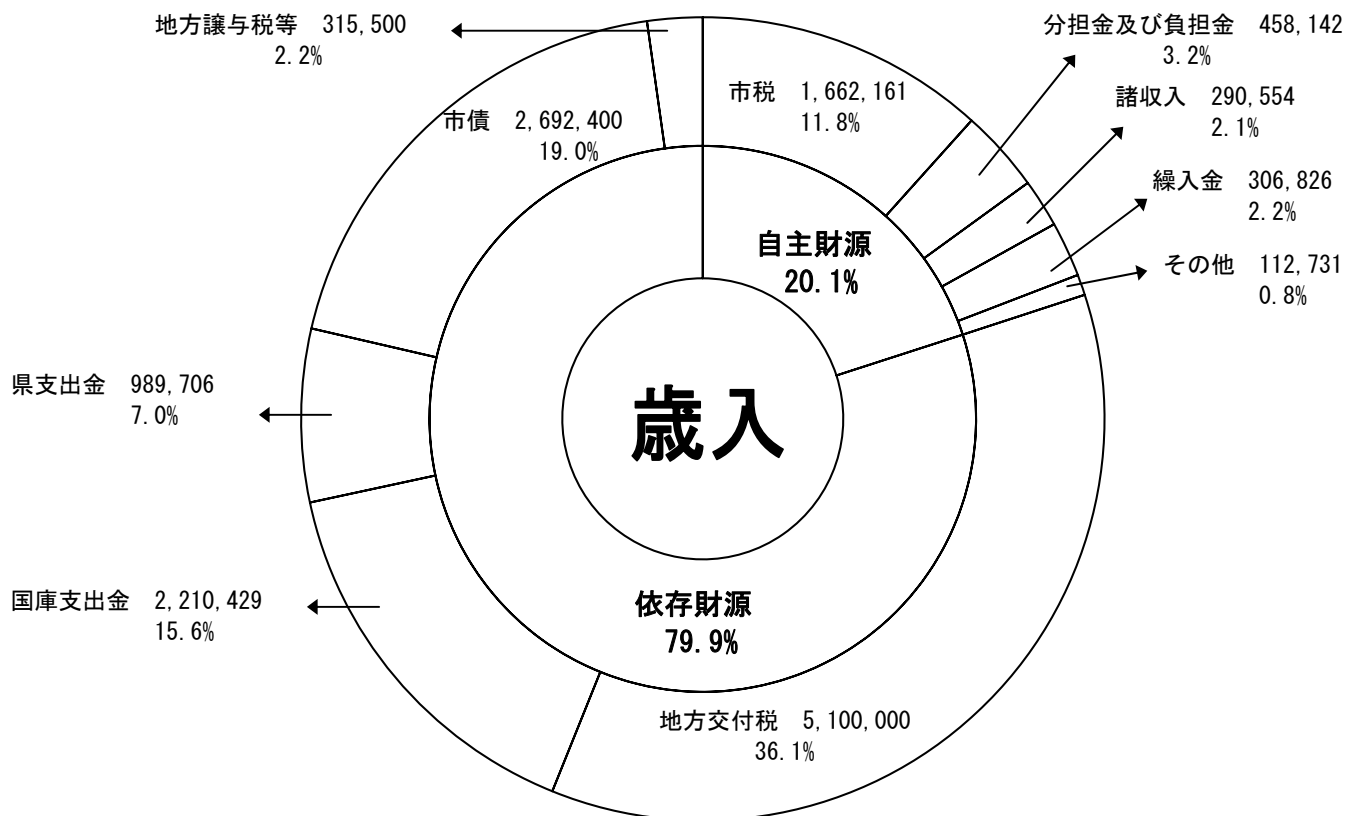
区 分	24年度当初 A	23年度当初 B	比 較		構成比	
			増減額 A - B	増減率 A / B		
1 義務的経費	5,440,263	5,738,447	△ 298,184	△ 5.2	38.5	
内 訳	人件費	2,561,818	2,619,937	△ 58,119	△ 2.2	18.1
	扶助費	1,372,674	1,439,598	△ 66,924	△ 4.6	9.7
	公債費	1,505,771	1,678,912	△ 173,141	△ 10.3	10.7
2 普通建設事業費	2,956,810	2,364,526	592,284	25.0	20.9	
内 訳	補助事業	1,714,336	1,107,018	607,318	54.9	12.1
	単独事業	1,242,375	1,257,508	△ 15,133	△ 1.2	8.8
3 災害復旧費	1,792,101	18,110	1,773,991	9,795.6	12.7	
4 その他経費	3,949,275	4,006,106	△ 56,831	△ 1.4	27.9	
合 計	14,138,449	12,127,189	2,011,260	16.6	100.0	

一般会計歳入予算の状況

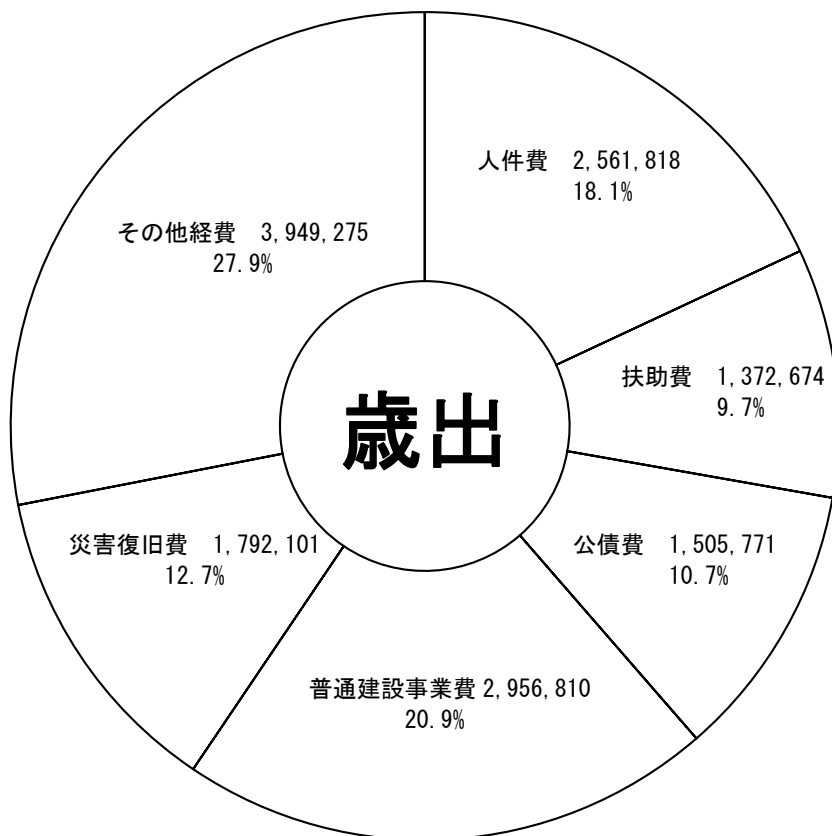
(単位：千円、%)

区 分	24年度当初 A	23年度当初 B	比 較		構成比
			増減額 A - B	増減率 A/B	
市税	1,662,161	1,666,717	△ 4,556	△ 0.3	11.8
地方譲与税等	315,500	362,500	△ 47,000	△ 13.0	2.2
地方交付税	5,100,000	5,200,000	△ 100,000	△ 1.9	36.1
分担金及び負担金	458,142	461,350	△ 3,208	△ 0.7	3.2
使用料及び手数料	92,945	91,778	1,167	1.3	0.7
国庫支出金	2,210,429	1,135,798	1,074,631	94.6	15.6
県支出金	989,706	912,374	77,332	8.5	7.0
財産収入	10,786	12,628	△ 1,842	△ 14.6	0.1
寄附金	4,000	2,760	1,240	44.9	0.0
繰入金	306,826	337,831	△ 31,005	△ 9.2	2.2
繰越金	5,000	5,000	0	0.0	0.0
諸収入	290,554	299,253	△ 8,699	△ 2.9	2.1
市債	2,692,400	1,639,200	1,053,200	64.3	19.0
合 計	14,138,449	12,127,189	2,011,260	16.6	100.0

一般会計歳入予算総額 14,138,449千円



一般会計歳出予算総額 14,138,449千円



平成24年度当初予算(一般会計)について

～産業振興、健康福祉、防災・復旧対策を三つの柱に！～ 市政始まって以来の「超」大型積極予算

1. 予算の概要

平成24年度の当初予算は、

- (1) 高速道路が熊野市まで開通するまでの今後2年間は、市の発展の最後のチャンスであり、正念場となることから、過疎化・高齢化対策として、活力を生み出し、若者の市外流出を抑制するために、民間事業者と市との連携・協力により、市を挙げて産業の振興に全力を傾注、いわば「株式会社熊野市役所」として、働く場を創出すること。
- (2) 高齢化率37%、1人暮らし高齢者世帯の総世帯に占める割合が25%という「超・超高齢社会」を健康で安心して暮らせる社会とするため、福祉・健康づくり等に力を入れること。また、子育て世代の支援に積極的に取り組むこと。
- (3) 最優先の課題である台風12号の豪雨災害からの復旧・復興事業を可能な限り急ぐとともに、地震・津波対策を含めての防災対策事業を積極的に進めること。

などを踏まえ、諸課題に的確に対処していくため、過去最大だった前年度予算を大幅に上回る対前年度比16.6%増、総額141億3,844万9千円の予算編成をしており、市の人口規模からみて、非常に積極的で超大型の、当市として過去最大の予算編成にしております。

(1) 過去最大だった前年度予算を大幅に上回る超大型積極予算

平成24年度当初予算は、「働く場の創出」を最重要テーマに位置づけての産業の振興、暮らしの安心と健康づくりをキーワードとする福祉社会の実現、東日本大震災と昨年9月に当市を襲った台風12号の大水害の教訓を踏まえた防災対策事業という3点を中心に、各分野の施策をこれまで以上に力強く前進させ、第1次熊野市総合計画の将来像「豊かな自然と歴史の中で人がかがやく、活力と潤いのあるまち・熊野」の実現を目指します。

特に、防災対策事業では、研修事業などにより市民の意識高揚を図り、庁舎ほか公共施設の防災機能を強化するなど多くの新規事業を行って、積極的に取り組みます。また、大水害によって甚大な被害を受けた道路、河川などの災害復旧事業を23年度に引き続いて行い、1日も早い復興を目指します。

経常的経費などについては、これまで以上に厳しく見直し、適正な財源を確保するなど行財政改革の更なる推進に努めます。市民の視点・感覚に立った「市民本位

の行政運営を基本とし、限られた財源を最大限に有効活用し、「最小の経費で最大の効果」をあげることに取り組みます。活動基準原価計算(ABC分析)の実施結果を活用し、職員一人ひとりが業務の効率化、コスト削減を十分に考慮し、前例にとらわれず積極的に事業を見直し、新しい発想でアイデアを生み出し、創意工夫を図ります。

このように編成を行った平成24年度当初予算は前年度を大幅に上回る141億3,844万9千円、対前年度比20億1,126万円、16.6%増となっており、同程度の人口規模の市と比較しても、4~5割増となる超大型の予算です。災害復旧費17億9,210万1千円を除く額123億4,634万8千円でも過去最大の予算となります。(参考:全国の人口2万人前後の7市の平成23年度当初予算額の平均は約98億円です。)

新市誕生後は、平成18年度107億5,037万円、平成19年度112億4,738万9千円、平成20年度114億7,722万3千円、平成21年度117億4,484万7千円、平成22年度120億7,701万9千円、平成23年度121億2,718万9千円と毎年度連続して超大型予算を編成しています。

(2)平成24年度の主な事業

①産業の振興「地域資源を活かした、独創性のある産業が発展するまち」

特産品づくりでは、「新姫」について、新たな加工商品を増やすなど「輸出力」の強化に引き続き積極的に取り組むほか、ハバネロなどの「激辛唐辛子特産品化検討事業」、熊野で水揚げされた魚の魚価向上を図る「熊野活〆(いけじめ)流通促進事業」などを新たに実施します。**集客・交流**では、レストラン・地域物産販売店・情報館等を整備する「鬼ヶ城センター複合施設建設事業」、スポーツによる集客をさらに拡大するため「世界少年野球大会開催事業」「都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会開催事業」を新たに実施します。**農業**では、市場の求める品目の試験栽培を実施する「葉物野菜契約栽培試験事業」などを新たに行うほか、地域に根付く有能な新規就農者を確保し、生産拡大、耕作放棄地解消を目指す「農業公社事業」などを引き続き実施します。**水産業**では、限られた漁業資源に付加価値を付けることを目的とした「衛生管理型魚市場整備事業」などを、**豊かな森づくり**では、平成24年4月に合併する森林組合の経営効率化や間伐材の有効利用を目指した「森林組合施業効率化事業」などを新たに実施します。

②保健・医療・福祉の充実「支え合い助け合う、健やかにいきいきと暮らせるまち」

予防・健診では、ロタウイルスの感染症になることや重症化を防ぐ「ロタウイルスワクチン接種助成事業」、加齢とともに骨密度が低下しやすい女性を対象とした「骨粗しょう症予防事業」、虫歯予防のため保育所の園児がフッ化物のうがいを行う「保育所フッ化物洗口事業」などを新たに行います。**健康づくり**では、国民健康保険の特定保

健指導対象者に対し、個別訪問活動などを実施する「メタボリックシンドローム改善強化事業」を新たに実施します。**少子化・子育て対策**では、井戸保育所民営化による効率化の成果により市全体の保育料を3%軽減するほか、津波浸水被害が予想される有馬保育所を金山保育所に移転・統合する「有馬保育所移転事業」、平成24年9月から乳幼児医療費助成を小学校6年生まで拡大する「乳幼児医療費拡大事業」などを新たに実施します。

③教育・文化の振興 「人・歴史・文化を育み、心の豊かさに包まれたまち」

学校教育では、「小・中学校防災教育事業」により大災害時に児童生徒及び教職員が万全に対応できるよう地域の実態に合わせた防災教育を行うほか、小中学校において学習達成度調査を実施してその分析結果により授業改善を行う「学力向上支援事業」を新たにを行います。**学校環境の整備**では、校舎に引き続いて実施する「新鹿中学校屋内運動場改築事業」、学校の防災機能を強化する「小・中学校防災機能強化事業」などを、**文化芸術**では、市民会館の階段に昇降機を設置して、高齢者や障がい者の利便性を向上する「市民会館階段昇降機設置事業」を新たに実施します。

④生活環境の整備 「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」

災害復旧では、台風12号の豪雨災害により甚大な被害を受けた道路、河川、水路、林道などの復旧事業を行い、1日も早い復興を目指します。**防災**では、防災に関する市民の意識高揚を図るための「自主防災組織研修事業」、庁舎ほか公共施設の防災機能強化、避難路整備の早急な実施、スポーツ集客のための野球場を備えた「防災公園整備事業」など合計で17の新規事業、10の増額事業に積極的に取り組みます。**市街地の整備**では、熊野市駅前において、全市民参加型の「賑わい・絆」を目的とした「オール熊野世界NO. 1フェスティバル」の開催を行うほか、子育て支援の一環として市内各公園の遊具や照明設備などの設備の改修を行う「都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業」を新たにを行います。**道路**では、生活に密着した道路の改良事業や維持事業を引き続き実施します。**住宅・住環境**では、第1所山団地の耐震補強、外壁改修工事を行うほか、地方バス路線の維持や福祉バスの運行など引き続き公共交通機能の確保を図ります。**廃棄物の処理**では老朽化した現在の施設に代わる「汚泥再生(し尿)処理センター建設事業」に本格的に着手します。

⑤「まちづくりの進め方」

市政への関心を今以上に高めるため、市議会本会議の様子をケーブルテレビの行政チャンネルで生中継する「市議会本会議映像ケーブルテレビ中継事業」を新たにを行います。

2. 歳出予算の特徴

(1) 義務的経費

義務的経費(人件費、扶助費、公債費)については、対前年度比2億9,818万4千円、5.2%減の54億4,026万3千円となっており、予算全体の38.5%を占めています。

人件費につきましては、定年退職予定者の増により職員退職手当が8,051万円の増額となりますが、職員退職者の不補充による職員数の削減効果などにより、トータルでは5,811万9千円の減となっています。

扶助費につきましては、3歳以上から小学校修了前までの第1子、第2子や中学生の子どものための手当が月額1万円になることなどから6,692万4千円の減となっています。

公債費につきましては、市債償還額が4,045万円の減となっており、平成23年度に引き続き将来の財政健全化のため実施する繰上償還についても1億2,980万円の減となることなどから、トータルで1億7,314万1千円の減の15億577万1千円となります。

(2) 普通建設事業費

普通建設事業費については、新規事業では、校舎に引き続き実施する「新鹿中学校屋内運動場改築事業」、遊木漁港に整備する「衛生管理型魚市場整備事業」など、継続事業では、鬼ヶ城にレストラン、地域物産販売店、情報館等の複合施設を建設する「鬼ヶ城センター複合施設建設事業」、老朽化した現在の施設に代わる「汚泥再生(し尿)処理センター建設事業」などを予算化しています。

トータルでは、29億5,681万円(前年度比5億9,228万4千円増、25.0%増)となっています。

(3) 災害復旧費

台風12号の大水害によって甚大な被害を受けた道路、河川、水路その他の施設の災害復旧事業を23年度に引き続いて行い、1日も早い復興を目指します。災害復旧事業費は17億9,210万1千円となっています。

(4) その他経費

義務的経費及び投資的経費を除くその他経費については、緊急雇用創出事業が縮小されることなどから、トータルでは5,683万1千円の減となっています。

(5) 特色ある新規事業、増額した継続事業

(事業費、事業内容についてはP10～P18)

3. 歳入予算の特徴

(1) 市税

市税については、納税義務者の減少、大水害による雑損控除の影響などにより市民税が減となることなどから総額で16億6,216万1千円、対前年度比455万6千円、0.3%の減となっています。

(2) 地方交付税

地方交付税については、国の地方財政計画においては17兆4,545億円、対前年度比811億円、0.5%増となっております。しかしながら、市においては、普通交付税については前年度に比べて1億円の減としております。また、特別交付税については、平成23年度当初予算額と同額を予算化しています。

その結果、地方交付税は51億円、対前年度比1億円、1.9%の減となっています。

(3) 市債

市債について、建設事業や災害復旧事業などに対しては、事業費の増額により23億240万円、対前年度比12億92万円、90.4%の増となっております。地方交付税と同様に一般財源として取り扱われる臨時財政対策債については、3億9,000万円、対前年度比4,000万円、9.3%の減となり、市債総額では、26億9,240万円、対前年度比10億5,320万円、64.3%の増となっています。

市債の内容は、合併特例債6億4,110万円、過疎債5億8,390万円、災害復旧債7億4,610万円その他7億2,130万円となっています。

この結果、平成24年度末の市債残高見込額は151億8,461万3千円となっています。なお、合併特例債などは元利償還の際に交付税措置がされることから、実質的市債残高は約38億円となっております。

(4) 財政調整基金繰入金

財政調整基金から2億6,347万5千円を財源不足解消のため繰り入れします。

この結果、平成24年度末財政調整基金の残高見込額は18億7,865万6千円となっています。なお、地域振興基金、減債基金などを加えた基金総額では32億3,969万2千円となっています。

特色ある新規事業

単位:千円

事業名	事業費	事業内容
1 産業の振興		
特産品づくり		
1 激辛唐辛子特産品化検討事業	2,870	獣害が少なく生産が容易なハバネロ、ブートジョロキア等の栽培の拡大、粉末加工を行い、市場調査を実施します。
2 「熊野の木」新たな特産品づくり事業	300	間伐材を含めた熊野の木材を有効活用するため、都市部の大学でデザインなどを専攻する学生のアイデアを活用し、商品化を検討します。
3 熊野活〆(いけじめ)流通促進事業	305	魚価の向上を図るため、熊野で水揚げされた魚を鮮度保持のために活〆(いけじめ)し、「熊野ブランド水産物」として流通するよう、関係機関と協力しながらPRしていきます。
4 新連携商品開発推進事業	403	23年度に開発中のさんま等の水産物を活用した特産品について、試作品開発を行い、地域産業の活性化を図ります。
集客・交流		
5 くまの集客倍増・おもてなしアップ推進事業	610	市内の観光施設運営者、宿泊業者、運輸業者、旅行業者等の参画によるくまの集客倍増・おもてなしアップ推進会議を設置し、観光客の集客向上に向けた取組みを検討します。
6 都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会開催事業	2,100	全国への情報発信、大きな経済波及効果を創出するため、都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会を開催するための経費に対し補助を行います。
7 全日本実年ソフトボール大会開催事業	2,300	幅広い階層の全国大会を開催することにより、開催地としての評価を確立し、多くの経済効果を創出するため、全日本実年ソフトボール大会を開催するための経費に対し補助を行います。
8 世界少年野球大会開催事業	2,700	紀伊半島3県で開催される世界少年野球大会のうち、野球教室・交流試合等を熊野市で開催するための経費に対して補助を行います。
9 観光大使事業	698	熊野市にゆかりがあって、観光業などに精通した方々に観光大使になっていただき、熊野市の魅力、良さを国内外にPRしてもらいます。また、観光大使のアドバイスを今後の観光施策に反映します。
農業		
10 安価な捕獲檻普及促進事業	256	「竹と間伐材を使った捕獲檻」の組み立てキット、マニュアルを作成し、普及を行います。
11 すきま野菜等栽培試験事業	798	加工品への活用も期待できる新たな作目を選定するため、さつまいもの品種であるクイックスweet、パープルスweetロードなどを栽培し、食品関連業者に提案していきます。
12 葉物野菜契約栽培試験事業	567	消費者ニーズがあり市場が求める葉物野菜の契約栽培を試験的に行い、産地化と農家収入の安定化を図っていきます。
13 新規就農者確保事業	7,500	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後の所得を確保するため補助金を交付します。
14 地域農業マスタープラン策定事業	589	地域の営農継続、耕作放棄地の減少などを図るため、中心となる経営体への農地の集積やその他の農業者を含めた地域農業のあり方を話し合い、マスタープランを作成します。
15 農用地利用集積特別対策事業	1,505	地域農業マスタープランによって決定された農地の集積を促進します。
林業・豊かな森づくり		
16 森林組合合併補助事業	1,000	24年4月に熊野市森林組合と紀南森林組合が合併し誕生する三重くまの森林組合に対して、合併後の初期必要経費について補助を行い、経営の効率化を促進します。

事業名	事業費	事業内容
17 森林組合施業効率化事業	2,131	間伐材の有効利用や今後の森林経営計画を考慮するため、三重くまの森林組合に間伐材搬出機械と森林GPS測量機器を導入します。
水産業		
18 衛生管理型魚市場整備事業	157,552	限られた漁業資源に付加価値を付け、魚価を向上させるため、遊木漁港に衛生管理型魚市場を整備します。平成25年度の完成に向け、平成24年度は実施設計と建物の1期工事を行います。
19 漁港建設事業	112,350	遊木漁港内に建設予定の新たな魚市場の完成後、漁業者等が安全、安心に活動できるように、北防波堤を延長して港内の静穏度向上を図ります。
20 魚礁設置事業	13,500	七里御浜沖に魚礁を沈設し、漁業資源の増大を図ります。
商工業		
21 きのもと商いPR支援事業	616	熊野市商店連合会が本町通、記念通り商店街などに呼びかけて実施する百円市や一店逸品活動などのPR費用を支援し、個々の商店主が独自の発想で自己商品の販売戦略を考え魅力ある店作りを努めることを支援します。
22 歩き楽しむ記念通り商店街実現支援事業	837	記念通り商店街を中心とした市街地に賑わいをもたらすため、7月から12月までの間に8回歩行者天国を実施し、季節にあわせたイベントを実施します。
23 那智黒石ポスター、パンフレット等作成事業	334	熊野市が唯一の生産地である那智黒石にかかるポスターやパンフレットを作成することで、伝統工芸品の発展支援、情報発信の強化を図ります。
24 企業立地促進法基本計画策定事業	129	企業立地促進法に基づく基本計画を策定し、企業誘致の促進を図ります。
小計 24事業	311,950	
2 保健・医療・福祉の充実		
予防・健診		
1 ロタウイルスワクチン接種助成事業	1,225	ロタウイルス感染症になることや重症化を防ぐため、ワクチン接種費用の一部を助成します。
2 骨粗しょう症予防事業	840	加齢とともに骨密度が低下しやすい女性を対象に骨密度チェックを実施し、健康教育を施すことによって、将来骨粗しょう症になることを防ぎます。
3 成人歯科保健対策事業	395	歯を失う最大の原因になっている歯周疾患の予防と早期発見を行うため、40歳、50歳の節目の年齢の方に検診、保健指導を行います。
4 保育所フッ化物洗口事業	474	虫歯予防のため、保育園児によるフッ化物洗口(うがい)を行います。
5 小学校フッ化物塗布推進事業	252	虫歯予防のため、小学校1年生の児童にフッ化物塗布を行います。
健康づくり		
6 メタボリックシンドローム改善強化事業	291	国民健康保険の特定保健指導の対象者に対し、個別訪問による改善のための指導などを実施して、メタボリックシンドロームの予防、改善を図ります。
少子化・子育て対策		
7 有馬保育所移転事業	10,035	津波浸水被害が予想され避難場所が遠い有馬保育所を金山保育所に移転・統合するため、金山保育所増築事業の設計業務を行います。

事業名	事業費	事業内容
8 保育料軽減事業	2,163	井戸保育所民営化による効率化の成果により、市全体の保育料を平均3%軽減し、子育て世代の経済的負担を減らします。
9 井戸保育所民営化補助事業	3,500	平成24年4月から民間移行する井戸保育所の初期必要経費について、ひまわり保育園に補助を行い、効率化を促進します。
10 私立保育所延長保育促進事業	9,706	就労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、保護者の希望に応じて、ひまわり保育園、井戸保育所で19時までの延長保育を実施します。
11 乳幼児医療費拡大事業	6,026	平成24年9月診療分から乳幼児医療費助成を小学6年生まで拡大します。
小計 11事業	34,907	
3 教育・文化の振興		
学校教育		
1 小・中学校防災教育事業	621	大規模災害時に児童生徒及び教職員が万全に対応できるよう、地域の実態に応じた防災教育を行います。
2 学力向上支援事業	320	小中学校において観点別学習達成調査を実施し、その分析結果に基づく学力向上プランを作成し授業改善を行うことで、児童・生徒の学力向上を目指します。
学校環境の整備		
3 新鹿中学校屋内運動場改築事業	217,999	校舎に引き続いて、新鹿中学校屋内運動場の改築事業を実施します。
4 小・中学校防災機能強化事業	19,400	有馬小学校、井戸小学校、遊木小学校に屋上フェンスの設置などを行い、木本中学校には自家発電設備の設置などを行って、緊急の避難場所としての学校の機能を強化します。
5 木本小学校校舎改修事業	30,000	木本小学校の外壁改修工事などを行います。
紀和鉱山資料館事業		
6 紀和鉱山資料館体験学習事業	74	鉱山ズリ場や坑道での体験学習事業を実施し、日常経験できない鉱山体験を通じて、鉱山への関心を深め、資料館の魅力発信につなげます。
文化芸術		
7 市民会館階段昇降機設置事業	4,400	市民会館の1階から3階までの階段に昇降機を設置し、高齢者や障がい者の利便性を向上します。
地域間交流		
8 他地域交流検討事業	287	宮崎県日向市とは、碁石(那智黒石とハマグリ)や神武天皇東征の出発地と到着地などでつながりがあることから、今後新たな交流先として調査、検討を行います。
小計 8事業	273,101	
4 生活環境の整備		
防災		
1 自主防災組織研修事業	1,757	自主防災組織を対象とした講演会の実施や体験型防災学習施設での研修を数多く行って、防災に関する市民の意識の高揚を図ります。

事業名	事業費	事業内容
2 自主防災組織アマチュア無線免許取得事業	1,479	災害時の情報伝達手段としてアマチュア無線を活用するため、自主防災組織がアマチュア無線の免許を取得する費用に対して補助を行います。
3 市庁舎電気設備棟整備事業	195,600	大規模な地震・津波から災害対策本部機能を確保するため、市庁舎横の高台に受変電設備、自家発電設備等を整備し、浸水被害を抑えます。
4 サーバーーム移転事業	12,800	総合住民情報システム、戸籍システム等に係るサーバーームを庁舎1階から6階に移転し、津波による被害を最小限に抑えます。
5 災害対策本部機能確保事業	1,005	大規模災害時において、市庁舎の災害対策本部機能を確保するため、非常用浄水装置を配備します。
6 職員アマチュア無線免許取得事業	683	災害時の情報伝達手段としてアマチュア無線を活用するため、職員にアマチュア無線の免許を取得させます。
7 防災行政無線中継局用発電機整備事業	536	災害発生時、住民に迅速確実な情報を提供するため、防災行政無線の長尾山、ツエノ峰中継局に非常電源用発電機を整備します。
8 雨量計整備事業	752	上川、神川、育生出張所、市庁舎に雨量計を整備することにより、浸水、土砂崩れ等の災害発生を予測し、住民の早めの避難に役立ちます。
9 衛星インターネット整備事業	917	大規模災害時の情報収集や通信手段の確保のため、市庁舎、消防署に衛星インターネットを整備します。
10 津波ハザードマップ整備事業	7,745	津波からの住民の速やかな避難に役立てるため、国の中央防災会議の被害想定から作成した津波シミュレーションに基づき、津波ハザードマップを作成し配布します。
11 津波避難施設調査検討事業	115	大規模地震の際、住民の安全を確保するため、津波避難施設の調査検討を行います。
12 戸籍及び住民基本台帳データ保護対策事業	290	大規模災害に備え、現在の市庁舎以外に紀和総合支所でも戸籍及び住民基本台帳データ等の保管を行います。
13 保健福祉センター地下駐車場進入路改修事業	2,000	井戸川氾濫に備えて、保健福祉センターの地下駐車場入口をかさ上げして地階への浸水を抑制します。
14 避難時お薬手帳、薬剤携帯袋配布事業	576	避難時に自分の命を守る服薬情報や薬剤を持って逃げてもらえるように、携帯袋を配布、啓発し、医療依存度の高い方の二次災害を防ぎます。
15 荒坂診療所耐震診断事業	944	荒坂診療所の耐震診断を行って、耐震補強工事が必要かどうか判断します。
16 新鹿漁港海岸保全施設改良事業	2,646	新鹿海岸に設置されている護岸に、開閉操作が容易な門扉を設置し、台風による高波時の閉鎖措置を速やかに行えるようにします。
17 飛鳥分団車両更新事業	8,935	老朽化している飛鳥分団小阪の小型動力ポンプ車を更新し、消防力を強化します。
市街地の整備		
18 オール熊野世界NO. 1フェスティバル開催事業	4,700	熊野市駅前において、市内各地域の住民同士の絆の再確認や地域内の活力再生、市全体のPRのため、全市民参加型のイベントを実施します。
19 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	46,877	子育て支援の一環として市内各都市公園の遊具や照明設備等の改修を行います。
花のまちづくり		
20 インフィオラータ作成事業	722	オール熊野世界NO. 1フェスティバルに合わせて、花びらを敷き詰めて1枚の絵にする「インフィオラータ」を作成し、市内外へ花いっぱい運動のPRを行います。

事業名	事業費	事業内容
住宅・住環境		
21 市営住宅改修事業	21,114	第1所山団地の耐震補強、外壁改修工事を実施します。
廃棄物の処理		
22 廃棄物処理機購入事業	2,600	廃棄物として収集される発泡スチロールの処理機を購入し、資源化します。
小計 22事業	314,793	
5 まちづくりの進め方		
1 市議会本会議映像ケーブルテレビ中継事業	398	市政への関心を今以上に高めるため、市議会本会議の模様をケーブルテレビの行政チャンネルで生中継します。
2 熊野市総合計画策定事業	6,402	まちづくりを総合的かつ計画的に推進するため、第1次熊野市総合計画後期基本計画の作成、配布を行います。
3 なんでもつづり改訂事業	1,631	行政サービスの周知や住民がより市役所のサービスを利用しやすくするため、くまの市なんでもつづりの改訂を行います。
4 地域まちづくり協議会活動報告事業	340	オール熊野世界NO.1フェスティバルに合わせて、各地区地域まちづくり協議会の活動を文化交流センターで展示し、活動の認知度の向上、意欲高揚を図ります。
5 平谷公民館修繕事業	220	台風12号で屋根が被災した平谷区が所有する公民館の修繕費用の一部を補助します。
6 楊枝公民館修繕事業	206	楊枝区が所有する公民館の浄化槽及びトイレの修繕費用の一部を補助します。
7 所山集会所修繕事業	2,799	台風12号で浸水し、多大な被害を受けた所山区が所有する集会所の修繕費用の一部を補助します。
8 小船集会所兼診療所建設事業	15,000	台風12号で流出した小船集会所兼診療所を再建します。
小計 8事業	26,996	
総計 73事業	961,747	

増額した継続事業

事業費の()は平成23年度当初予算額

単位:千円

事業名	事業費	事業内容
1 産業の振興		
特産品づくり		
1 ふるさと公社事業	65,303 (65,204)	熊野地鶏や新姫、味噌などの特産物の生産・加工・販売や瀧流荘、湯ノ口温泉の観光サービス事業などを行います。平成23年4月から「ふるさと特産物加工所」が稼動し、特産物の生産・加工体制が整ったので、販売についてこれまで以上に力を入れ、市と公社の連携を取りながら「輸出力」が一層大きくなるよう支援していきます。
2 「新姫」特産品化推進事業	10,928 (8,352)	「新姫」を特産品として振興していく上で必要な苗木増産、遊休農地等を活用した栽培を進めると同時にぽん酢、ドリンク、果汁、アイスクリームの販売強化に努め、新たにサイダー、化粧品、飴などの商品を増やし、「輸出力」をつけて、売り上げ増を図っていきます。
3 新規特産品開発事業	3,524 (409)	熊野市唯一となる地酒の生産・加工に取り組むため、育生町の伝統特産品である「どぶろく」の特産品としての定着と推進を図り、販売を開始します。
集客・交流		
4 鬼ヶ城センター複合施設建設事業	534,002 (21,441)	鬼ヶ城にレストラン、地域物産販売店、情報館等の複合施設を整備します。
5 熊野古道積極活用推進事業	2,203 (1,773)	熊野市の観光をPRするため、おもてなし事業、メディア交流会への参加、観光ポスターの作成等を行います。新たに24年度は身近なものをおしゃれに撮るカメラ女子にターゲットを絞り、熊野市の観光資源を生かした写真教室ツアーを行い、新たな集客を図ります。
6 スポーツフェスティバル開催事業	10,144 (9,824)	ソフトボール、ベースボール、ラグビー、柔道、ソフトテニスのフェスティバルを開催し、スポーツを通じた集客・交流を促進します。
7 くまのレンタサイクル事業	4,480 (150)	観光客の利便性向上やまちなかの賑わい創出のため、鬼ヶ城や花の窟など周辺観光地とまちなかを結ぶ交通手段として、レンタサイクルを活用します。
農業		
8 農業公社事業	38,452 (11,347)	施設野菜等を志す方にふるさと公社の研修施設及び圃場において、2年間研修生として、生産技術や経営管理を学んでいたが、地域に根付く有能な新規就農者を確保し、生産拡大、耕作放棄地解消を目指します。
農村環境の整備		
9 県営中山間地域総合整備事業	46,500 (40,500)	中山間農村地域の活性化と集客交流の場の提供並びに農業生産力の向上と労働力の軽減、農村生活環境の改善を図ります。
10 県営畑地帯総合整備事業	40,500 (22,500)	高品質柑橘の生産を可能とする用水及び排水路の改良、道路整備を基本とした生産基盤整備を行います。
林業・豊かな森づくり		
11 有害鳥獣駆除事業	6,865 (5,800)	鳥獣害対策として、有害鳥獣買上事業、有害鳥獣出動奨励事業を行います。

事業名	事業費	事業内容
12 森林病虫害防除事業	931 (242)	花の窟、獅子岩、有馬町防風保安林内の松喰い虫防除を実施します。
13 森林環境創造事業	43,018 (36,934)	環境林の間伐、植栽、下刈、歩道整備、現地調査を実施することで山林の持続的な管理を行い、山林の活性化を図ります。
14 森林整備加速化・林業再生基金事業	30,001 (10,000)	林道専用道を開設し、森林整備を効率化します。
商工業		
15 人材育成支援事業	3,000 (1,000)	就業機会の拡大と市内での新たな職種の起業を促進するため、起業を志す市内居住者などが新たに知識、技術を習得するために必要な経費を融資します。
小計 15事業	839,851 (235,476)	
2 保健・医療・福祉の充実		
予防・健診		
1 がん検診推進事業	3,775 (2,395)	がん健診の受診率を高めるため、啓発活動を実施したり、予防のための生活習慣についてPRなどを行います。また、乳がん、子宮がん、大腸がんの対象者に検診手帳、クーポン券と共に受診案内を送付し、有効期限内に受診した方に健診費用を補助します。
2 幼児フッ化物塗布推進事業	740 (573)	虫歯予防のため、1歳6ヶ月、2歳6ヶ月、3歳児にフッ化物塗布を行います。
3 幼稚園フッ化物塗布推進事業	147 (104)	虫歯予防のため、幼稚園園児にフッ化物塗布を行います。
4 自殺対策事業	3,000 (500)	講演会の開催や相談機会・情報キャッチの方法を充実させることにより、自殺の予防に努めます。
少子化・子育て対策		
5 放課後児童対策事業	14,617 (10,838)	保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、授業の終了後に施設を利用して、適切な遊び及び生活の場を提供して健全育成を図っている「くまのっ子学童クラブ」の運営費を支援します。
6 老人とのふれあい事業	968 (661)	保育園児と地域の老人との季節行事や手作り玩具の製作・伝承遊び等を通じてふれあいを図り、子どもには「人を敬う心」を醸成するとともに、高齢者の生きがいづくり、社会参加を促進します。
7 ひまわり保育園運営費補助事業	7,133 (3,102)	ひまわり保育園に対して職員研修費や看護師等の雇用、低年齢児保育の実施などに要する経費の一部を補助し、保育サービスの充実を図ります。
8 母子家庭高等技能訓練促進事業	10,418 (8,510)	母子家庭の母が就職の際有利になるよう、かつ生活の安定に資する資格の取得を推進するため、看護師、介護福祉士等の資格を取得する経費の一部を助成します。
9 少子化対策・子育て家庭保育サポーター利用助成事業	1,104 (336)	子育ての不安感、孤立感を解消するため、小学校就学前の乳幼児を養育している家族が保育サポーターを利用した場合、利用料の2分の1、ひとり親家庭の場合は対象を小学6年生まで拡大し、利用料の4分の3を助成します。
10 少子化対策・ふるさと商店街子育て支援事業	248 (118)	3人以上子どもがいる世帯に対して、市内の店舗で割引などのサービスが受けられるパスポートを発行します。
社会保障等		

事業名	事業費	事業内容
11 障がい者自立支援事業	405,097 (392,364)	障がいを持った方々に対して、居宅でのホームヘルプサービスや施設でのサービスを提供するほか、補装具や日常生活用具を支給することにより、自立した生活を支援します。
小計 11事業	447,247 (419,501)	
3 教育・文化の振興		
文化芸術		
1 熊野街道歴史の道整備活用推進事業	1,402 (1,294)	世界遺産登録されている熊野古道の清掃、枝払い等を行い、きれいに保つことによって、イメージアップを図り、来訪者の増加につなげます。
2 文化交流センター企画事業	660 (500)	文化交流センターにおいて展示会を企画・実施するとともに、来館者参加型のイベントを開催します。
小計 2事業	2,062 (1,794)	
4 生活環境の整備		
災害復旧		
1 災害復旧事業	1,792,101 (18,110)	台風12号により甚大な被害を受けた道路、河川、水路、林道などの復旧事業を行い、1日も早い復興を目指します。
防災		
2 家具転倒防止器具取付事業	657 (320)	災害要援護者の地震対策として、家具転倒による被災を防止するため、L字型金具等を取り付けます。
3 緊急時浄水器整備事業	735 (368)	大規模災害時に孤立が予想される地区において、緊急時用浄水器の整備を行います。
4 災害時避難所整備事業	1,592 (768)	大規模災害時、避難所の運営に必要な設備を整備します。
5 災害時用非常食・飲料水整備事業	786 (471)	大規模災害時の避難者のための非常食及び非常飲料水を備蓄します。
6 木造住宅耐震補強補助事業	25,500 (9,660)	地震の際に、倒壊の危険性の高い木造住宅の耐震補強工事を行う住宅に対して補助を行います。
7 木造住宅耐震補強設計費補助事業	4,000 (1,600)	木造住宅の耐震補強設計費への補助を行います。
8 停電時避難誘導街灯設置事業	5,648 (1,883)	災害時に停電しても自動的に点灯する街灯を整備することで、停電時の夜間の避難に備えます。
9 耐震シェルター設置費補助事業	4,000 (2,500)	地震の際に、倒壊の危険性の高い木造住宅の居室等に耐震シェルター設置する場合に補助を行います。
10 避難路整備事業	30,000 (5,000)	大規模地震・津波時の速やかな避難を図るため、避難路における階段手すり整備や路面の補修などを行います。
11 防災公園整備事業	15,900 H22(2,500)	オレンジホテル跡地に、スポーツ集客のための野球場、室内練習場を備え、大規模災害時には復旧・復興活動の拠点となる公園を整備します。平成24年度は基本設計を行います。
市街地の整備		

事業名	事業費	事業内容
12 誘客・周遊による活性化推進事業	36,132 (100)	高速道路の開通までに、駅前、記念通り、本町通りと鬼ヶ城・花の窟をつなぐ中心市街地を観光客が回遊できる仕組みを作り、にぎわいを創出するため、本町通りの歴史を感じる商家を購入して、まちなかの集客拠点として整備します。
13 電線共同溝整備事業	110,522 (31,502)	都市景観の向上、安全で快適な通行空間の確保などを図るため、西川町獅子岩線の無電柱化事業を実施します。
交通体系の整備		
14 バス運行対策事業	81,030 (64,623)	地域住民の生活交通を確保するため、災害で県道が寸断されている神川、育生、井戸町瀬戸地区に対して、迂回してバスを運行します。
15 第3種生活路線維持事業	7,117 (6,849)	市民の生活交通確保と交通利便を図ることを目的に、市内1路線を維持するため、三重交通(株)に対して、赤字の一部を補助します。
道路		
16 道路新設改良事業	51,800 (46,500)	市道における車輛通行不能箇所及び通行困難箇所の解消を図ります。
廃棄物処理体制		
17 汚泥再生(し尿)処理センター建設事業	207,789 (24,778)	耐用年数を経過し老朽化した現在の施設に代わる、汚泥再生処理センターの27年度までの完成を目指し、設計、工事に入ります。
小計 17事業	2,375,309 (217,532)	
総計 45事業	3,664,469 (874,303)	

平成24年度一般会計当初予算の主な内容

事業費の()は平成23年度当初予算額

①産業の振興

「地域資源を活かした、独創性のある産業が発展するまち」

1 集客交流の推進

(1)観光業

(ア)受入態勢の向上

(新規) くまの集客倍増・おもてなしアップ推進事業【観光スポーツ交流課】61万円

市内の観光施設運営者、宿泊業者、運輸業者、旅行業者等の参画によるくまの集客倍増・おもてなしアップ推進会議を設置し、観光客の集客向上に向けた取組みを検討します。

(増額) 鬼ヶ城センター複合施設建設事業

【観光スポーツ交流課】5億3,400万2千円(2,144万1千円)

鬼ヶ城にレストラン、地域物産販売店、情報館等の複合施設を整備します。

(継続) 特産品活用名物料理創作事業【観光スポーツ交流課】20万円

来訪者にまた来たいと思っただけけるよう、熊野地鶏、新姫など地元特産品を活用した名物料理を創作します。

(イ)観光地としての魅力創造

(新規) 観光大使事業【観光スポーツ交流課】69万8千円

熊野市にゆかりがあつて、観光業などに精通した方々に観光大使になっていただき、熊野市の魅力、良さを国内外にPRしてもらいます。また、観光大使のアドバイスを今後の観光施策に反映します。

(継続) 徐福の里魅力向上事業【観光スポーツ交流課】93万3千円

徐福伝説を活用し、波田須周辺の地域資源の魅力を高め「徐福の里」波田須を国内外に発信します。

(継続) 新たな集客・交流推進検討事業【観光スポーツ交流課】107万8千円

鬼ヶ城、花の窟、観光物産会館などの滞留利用拠点づくりに加え、駅前周辺、記念通り・本町通り周辺といった道路やまち並み景観に対しても来訪者や地域住民を大切にするホスピタリティ表現を盛り込むなど集客・経済波及効果の期待できる構想を検討します。

(ウ)体験型観光の促進

(継続) 観光公社事業【観光スポーツ交流課】 1,661万1千円

熊野古道を核として地域の観光資源を組み合わせた旅行や体験プログラムの企画や実施、旅行代理店への宣伝、宿泊施設の紹介などのほか、滞在型の観光を推進することにより、観光の振興と観光関連産業及び地域経済の活性化を図ります。また、宿泊施設や食の面で指導的立場をとり、観光客の受入態勢の向上を図ります。

(継続) 丸山千枚田虫おくり支援事業【観光スポーツ交流課】 23万円

丸山千枚田の虫おくり実行委員会が主催する「丸山千枚田の虫おくり」に対し支援を行います。

(エ)集客交流の促進

(増額) くまのレンタサイクル事業【観光スポーツ交流課】 448万円(150万円)

観光客の利便性向上やまちなかの賑わい創出のため、鬼ヶ城や花の窟など周辺観光地とまちなかを結ぶ交通手段として、レンタサイクルを活用します。

(増額) 熊野古道積極活用推進事業【観光スポーツ交流課】 220万3千円(177万3千円)

熊野市の観光をPRするため、おもてなし事業、メディア交流会への参加、観光ポスターの作成等を行います。新たに24年度は身近なものをおしゃれに撮るカメラ女子にターゲットを絞り、熊野市の観光資源を生かした写真教室ツアーを行い、新たな集客を図ります。

(継続) 熊野囲碁大会開催事業【観光スポーツ交流課】 25万円

県内外から囲碁愛好家を集め、市内で囲碁大会を開催し、集客と特産品である那智黒石のPRを行います。

(継続) 紀南中核的交流施設整備事業【市長公室】 2,535万5千円

滞在型の集客交流施設の整備を行う(株)エムアンドエムサービスに対し支援を行います。

(継続) 小船梅まつり・小森桜まつり・火祭り・ふるさとまつり開催事業

【地域振興課】 430万円

地域の活性化と地域振興のため、伝統あるまつりを継続して実施します。

(継続) 観光イベント開催事業【観光スポーツ交流課】 295万円

各種観光イベント事業に対し、事業費の一部を支援することによってイベントの充実を図り、観光地としての宣伝活動及び観光客の誘致を行います。

(継続) 都市農村交流推進事業【農業振興課】 25万2千円

都市住民(相模女子大学)と集落の都市農村交流を促進させ、百貨店での地域物産展への出展や大学祭への参加を行い、当市の特産品を販売します。

(オ)観光客の利便性向上

(継続) 熊野古道シャトルバス運行事業【観光スポーツ交流課】 155万6千円

中京圏から熊野古道伊勢路への古道客誘致のために運行されている「熊野古道シャトルバス」への運営費の一部を負担します。

(2) スポーツによる集客交流

(ア) 大会・合宿誘致

(新規) 都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会開催事業

【観光スポーツ交流課】 210万円

全国への情報発信、大きな経済波及効果を創出するため、都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会を開催するための経費に対し補助を行います。

(新規) 全日本実年ソフトボール大会開催事業 【観光スポーツ交流課】 230万円

幅広い階層の全国大会を開催することにより、開催地としての評価を確立し、多くの経済効果を創出するため、全日本実年ソフトボール大会を開催するための経費に対し補助を行います。

(新規) 世界少年野球大会開催事業 【観光スポーツ交流課】 270万円

紀伊半島3県で開催される世界少年野球大会のうち、野球教室・交流試合等を熊野市で開催するための経費に対して補助を行います。

(増額) スポーツフェスティバル開催事業【観光スポーツ交流課】

1,014万4千円(982万4千円)

ソフトボール、ベースボール、ラグビー、柔道、ソフトテニスのフェスティバルを開催し、スポーツを通じた集客・交流を促進します。

(継続) 海水浴場魅力向上事業【観光スポーツ交流課】 39万円

新鹿海水浴場の魅力を高め、通年型の集客に結びつけるため、シーカヤックマラソン大会、ビーチサッカー大会を実施します。

(継続) 還暦野球熊野大会開催事業【観光スポーツ交流課】 60万円

山崎運動公園くまのスタジアム等で、還暦の部16チーム、古希の部4チームによる「還暦野球熊野大会」を開催し、市の情報発信、集客効果の増大を図ります。

- (継続) 紀伊半島グラウンドゴルフ大会開催事業【観光スポーツ交流課】 5万円
平成24年5月に紀伊半島グラウンドゴルフ大会を開催し、地域の活性化、観光客誘致による集客の拡大を進めます。
- (継続) 紀伊半島寿野球大会開催事業【観光スポーツ交流課】 100万円
三重・和歌山・奈良3県等からの参加チームにより寿野球大会を開催し、都市間の交流を行うことにより、地域振興を図ります。
- (継続) 熊野学童軟式野球大会開催事業【観光スポーツ交流課】 50万円
学童軟式野球大会を開催し、他地域からの集客を行うことにより、地域振興を図ります。
- (継続) 紀伊半島ビーチバレーボールフェスタ開催事業【観光スポーツ交流課】 15万円
平成24年7月に新鹿海水浴場において紀伊半島ビーチバレーボールフェスタを開催することにより、海のまち「新鹿」をPRし、ビーチバレーを通じて集客の拡大、地域の活性化を図ります。

2 商工（鉱）業の振興

(1) 商 業

(ア) 販売・輸出の強化

(新規) 那智黒石ポスター・パンフレット等作成事業【水産・商工振興課】 33万4千円

熊野市が唯一の生産地である那智黒石にかかるポスターやパンフレットを作成することで、伝統工芸品の発展支援、情報発信の強化を図ります。

(継続) 物産展開催事業【水産・商工振興課】 62万円

市外への輸出を促進するため、物産展、商品展示会等へ参加し、バイヤーとの連携強化を行います。

(イ) 中小小売業の活性化

(新規) きのもと商いPR支援事業【水産・商工振興課】 61万6千円

熊野市商店連合会が本町通、記念通り商店街などに呼びかけて実施する百円市や一店逸品活動などのPR費用を支援し、個々の商店主が独自の発想で自己商品の販売戦略を考え魅力ある店作りに努めることを支援します。

(新規) 歩き楽しむ記念通り商店街実現支援事業【水産・商工振興課】 83万7千円

記念通り商店街を中心とした市街地に賑わいをもたらすため、7月から12月までの間に8回歩行者天国を実施し、季節にあわせたイベントを実施します。

(新規) 新連携商品開発推進事業【水産・商工振興課】 40万3千円

23年度に開発中のさんま等の水産物を活用した特産品について、試作品開発を行い、地域産業の活性化を図ります。

(新規) 企業立地促進法基本計画策定事業【水産・商工振興課】 12万9千円

企業立地促進法に基づく基本計画を策定し、企業誘致の促進を図ります。

(継続) 若者・女性事業者フォローアップセミナー開催事業

【水産・商工振興課】 38万4千円

起業して間もない事業者や若手、女性事業者を対象に税制、会計、国・県等が実施する支援策や融資制度等に関するセミナーを開催します。

(継続) 若者起業支援・チャレンジショップ支援事業【水産・商工振興課】 215万円

木本町、井戸町、有馬町の商店街における空き店舗を活用した若者の起業に対し、家賃の2分の1以内で最高2年間補助します。

(継続) 記念通り商店街活性化事業【水産・商工振興課】 203万2千円

住民の憩いの場として利用されている「いこらい広場」を様々な人が利用できるスペースとして活用します。また、毎月「いこらい市」を開催します。

(継続) 若者起業支援・融資助成事業【水産・商工振興課】 75万円

若者が市内で起業する際、金融機関から起業のために融資を受ける場合において、利子の一部(融資金額の3%・補助対象融資限度額500万円、補助上限15万円)に対して補助を行います。

(2)工(鉦)業

(ア)新たな製品の創造

(増額) 新規特産品開発事業【水産・商工振興課】 352万4千円(40万9千円)

熊野市唯一となる地酒の生産・加工に取り組むため、育生町の伝統特産品である「どぶろく」の特産品としての定着と推進を図り、販売を開始します。

(3)就業機会・人材育成

(ア)人材育成

(増額) 人材育成支援事業【水産・商工振興課】 300万円(100万円)

就業機会の拡大と市内での新たな職種の起業を促進するため、起業を志す市内居住者

などが新たに知識、技術を習得するために必要な経費を融資します。

3 農林水産業の振興

(1) 農業

(ア) 農業者の確保・育成対策

(新規) 新規就農者確保事業【農業振興課】750万円

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後の所得を確保するため補助金を交付します。

(増額) 農業公社事業【農業振興課】3,845万2千円(1,134万7千円)

施設野菜等を志す方にふるさと公社の研修施設及び圃場において、2年間研修生として、生産技術や経営管理を学んでいただき、地域に根付く有能な新規就農者を確保し、生産拡大、耕作放棄地解消を目指します。

(継続) 戸別所得補償制度推進事業【農業振興課】198万5千円

本格実施される「戸別所得補償制度」を適正かつ円滑に実施するため、各種事務及び必要な取組を実施します。

(継続) 新規就農支援事業【農業振興課】336万円

UIターン等新規就農に向けた研修生に、日額2,000円を補助します。6か月の研修終了後、研修終了者に対し18か月間、月額10万円の自立経営を促進するための融資を行います。8年間定住して農業を継続して営んだ場合には、その後の償還を免除します。

(継続) 新規就農者等施設園芸補助事業【農業振興課】600万円

UIターン新規就農者に対し、施設園芸用設備の整備を行う場合、費用の一部を補助します。

(継続) 農業担い手対策補助事業【農業振興課】96万円

新たに転入して農業に従事するUIターン農業担い手に対し、家賃の一部を補助します。

(イ) 市場競争力のある農産物・加工品による輸出力強化

(新規) 激辛唐辛子特産品化検討事業【農業振興課】287万円

獣害が少なく生産が容易なハバネロ、ブートジョロキア等の栽培の拡大、粉末加工を行い、市場調査を実施します。

(新規) すきま野菜等栽培試験事業【農業振興課】79万8千円

加工品への活用も期待できる新たな作目を選定するため、さつまいもの品種であるクイックスイート、パープルスイートロードなどを栽培し、食品関連業者に提案していきます。

(新規) 葉物野菜契約栽培試験事業【農業振興課】 56万7千円

消費者ニーズがあり市場が求める葉物野菜の契約栽培を試験的に行い、産地化と農家収入の安定化を図っていきます。

(新規) 地域農業マスタープラン策定事業【農業振興課】 58万9千円

地域の営農継続、耕作放棄地の減少などを図るため、中心となる経営体への農地の集積やその他の農業者を含めた地域農業のあり方を話し合い、マスタープランを作成します。

(新規) 農用地利用集積特別対策事業【農業振興課】 150万5千円

地域農業マスタープランによって決定された農地の集積を促進します。

(増額) 「新姫」特産品化推進事業【農業振興課】 1,092万8千円(835万2千円)

「新姫」を特産品として振興していく上で必要な苗木増産、遊休農地等を活用した栽培を進めると同時にぽん酢、ドリンク、果汁、アイスクリームの販売強化に努め、新たにサイダー、化粧品、飴などの商品を増やし、「輸出力」をつけて、売り上げ増を図っていきます。

(継続) 熊野地鶏振興事業【地域振興課】 63万8千円

「熊野地鶏」を市の新たな特産品としてブランド化を図り、市内・外でPR活動を実施し、販売促進に力を入れます。

(継続) 耕作放棄地再生利用事業【農業振興課】 35万1千円

耕作放棄地解消を目的として、市の支援後も継続的に取り組めるような作物を地域とともに研究し実証していきます。

(継続) 特産品等開発事業(一地域一品運動)【農業振興課】 300万円

地域の人材や資源の活用により、地域の活性化と雇用の創出につながる食品加工・産直施設・伝統工芸・特産品開発事業を行う個人、または、団体の活動に要する経費に対し、支援を行います。

(継続) 特用林産物試験栽培事業【林業振興課】 42万2千円

紀和町にある旧石原産業の坑道を利用し、ハタケシメジ等の菌床試験栽培を実施します。

(ウ)農村環境の整備と農地の適正な管理

(増額) 県営中山間地域総合整備事業【農業振興課】 4,650万円(4,050万円)

中山間農村地域の活性化と集客交流の場の提供並びに農業生産力の向上と労働力の軽減、農村生活環境の改善を図ります。

(増額) 県営畑地帯総合整備事業【農業振興課】 4,050万円(2,250万円)

高品質柑橘の生産を可能とする用水及び排水路の改良、道路整備を基本とした生産基盤整備を行います。

(継続) 農免農道整備事業【農業振興課】 466万7千円

農免農道開設事業により国道311号から農村公園、防災拠点施設などを経て、県代行久生屋金山線への中核交流施設核心部にいたる2車線幹線農道の開設について事業を実施します。

(エ) 獣害対策

(新規) 安価な捕獲檻普及推進事業【農業振興課】 25万6千円

「竹と間伐材を使った捕獲檻」の組み立てキット、マニュアルを作成し、普及を行います。

(増額) 有害鳥獣駆除事業【林業振興課】 686万5千円(580万円)

鳥獣害対策として、有害鳥獣買上事業、有害鳥獣出動奨励事業を行います。

(継続) 農林産物獣害対策事業【農業振興課】 310万3千円

農林産物への被害を防止するために設置する電気柵等の資材を支援し、農林産物の安定生産を図ります。

(オ)(財) 紀和町ふるさと公社の役割

(増額) ふるさと公社事業【地域振興課】 6,530万3千円 (6,520万4千円)

熊野地鶏や新姫、味噌などの特産物の生産・加工・販売や瀨流荘、湯ノ口温泉の観光サービス事業などを行います。平成23年4月から「ふるさと特産物加工所」が稼働し、特産物の生産・加工体制が整ったので、販売についてこれまで以上に力を入れ、市と公社の連携を取りながら「輸出力」が一層大きくなるよう支援していきます。

(継続) 丸山千枚田保全事業【地域振興課】 1,745万7千円

丸山千枚田の稲作・草刈作業及び水口・畦畔・石垣等の補修作業を地元保存会の協力を得て行い、観光資源、文化資源としての活用を図り、農耕文化の継承に努めます。

(2) 林業

(ア) 市民と共存する豊かな森づくり

(新規) 森林組合合併補助事業【林業振興課】 100万円

24年4月に熊野市森林組合と紀南森林組合が合併し誕生する三重くまの森林組合に対して、合併後の初期必要経費について補助を行い、経営の効率化を促進します。

(新規) 森林組合施業効率化事業【林業振興課】 213万1千円

間伐材の有効利用や今後の森林経営計画を考えるため、三重くまの森林組合に間伐材搬出機械と森林GPS測量機器を導入します。

(増額) 森林病虫害防除事業【林業振興課】 93万1千円(24万2千円)

花の窟、獅子岩、有馬町防風保安林内の松喰い虫防除を実施します。

(増額) 森林環境創造事業【林業振興課】 4,301万8千円(3,693万4千円)

環境林の間伐、植栽、下刈、歩道整備、現地調査を実施することで山林の持続的な管理を行い、山林の活性化を図ります。

(増額) 森林整備加速化・林業再生基金事業【林業振興課】 3,001万円(1,000万円)

林道専用道を開設し、森林整備を効率化します。

(継続) オフセットクレジット推進事業【林業振興課】 60万円

市内の森林によるカーボン・オフセットを推進するため、CO2吸収量認証であるオフセット・クレジット(J-VÉR)の取得、販売を推進します。

(継続) 施業集約化促進対策事業【林業振興課】 850万5千円

集約化施業により搬出間伐を推進するため、小規模森林所有者を取りまとめ合意形成を図ります。合意形成への取組に必要な森林情報の収集・現況調査・境界確認等の森林所有者の合意形成等活動への支援を行います。

(継続) 甲虫類飼育事業【林業振興課】 6万円

紀和町のクヌギ山を利用し、甲虫類の産卵場所を人工的につくり増殖させることで、自然豊かな森づくりとともに、観光客に昆虫採取の体験メニューを提供します。

(継続) 林内作業道開設事業【林業振興課】 144万円

森林組合が開設する作業道について、支援を行います。

(継続) 林道開設事業【林業振興課】 1億2,715万3千円

林道高代山線開設事業、他2路線の改良事業を実施します。

(継続) 民有林境界測量促進事業【林業振興課】 58万8千円

民有林の位置、境界をGPS等を使用しながら測量・調査する費用の一部を補助します。

(イ)林産物の需要拡大と安定供給体制づくり

(新規)「熊野の木」新たな特産品づくり事業【林業振興課】 30万円

間伐材を含めた熊野の木材を有効活用するため、都市部の大学でデザインなどを専攻

する学生のアイデアを活用し、商品化を検討します。

(継続) 熊野材輸出促進事業【林業振興課】 143万4千円

市と熊野木材協同組合が一体となって熊野材輸出促進のための協議会を設置し、熊野材の産地化を進めることによって消費者の認知度を深め、工務店などに営業活動を行うことにより、都市部での需要拡大を図ります。

(継続) 木造住宅建設促進対策事業【林業振興課】 1,100万円

地元産材の活用を通して建築関連産業の活性化を図るため、熊野材を使用した住宅建築者にレインボー商品券の購入を助成します。

(3)水産業

(ア)水産資源の安定的確保と漁業基盤の整備

(新規) 衛生管理型魚市場整備事業【水産・商工振興課】 1億5,755万2千円

限られた漁業資源に付加価値を付け、魚価を向上させるため、遊木漁港に衛生管理型魚市場を整備します。平成25年度の完成に向け、平成24年度は実施設計と建物の1期工事を行います。

(新規) 漁港建設事業【水産・商工振興課】 1億1,235万円

遊木漁港内に建設予定の新たな魚市場の完成後、漁業者等が安全、安心に活動できるように、北防波堤を延長して港内の静穏度向上を図ります。

(新規) 魚礁設置事業【水産・商工振興課】 1,350万円

七里御浜沖に魚礁を沈設し、漁業資源の増大を図ります。

(継続) 新規養殖魚調査研究事業【水産・商工振興課】 235万2千円

マダイに代わる新たな養殖魚としての可能性を探るため、ウマズラハギ等を試験的に養殖します。

(継続) 環境生態系保全活動支援事業【水産・商工振興課】 76万5千円

藻場や磯場の生態環境保全のため、藻場保全など地域組織が実施する活動について支援を行います。

(継続) 種苗放流事業【水産・商工振興課】 357万8千円

トラフグ、ヒラメ、マダイの放流に加え、魚価が高く放流後の定着性のあるカサゴの放流を実施し、水産資源の維持・増大と漁家所得の向上・安定を図ります。

(イ)ブランド化と輸出の拡大

(新規) 熊野活〆(いけじめ)流通促進事業【水産・商工振興課】 30万5千円

魚価の向上を図るため、熊野で水揚げされた魚を鮮度保持のために活〆(いけじめ)し、「熊野ブランド水産物」として流通するよう、関係機関と協力しながらPRしていきます。

(継続) 漁業6次産業化推進事業【水産・商工振興課】 80万円

漁業関係者等と産地協議会を設置し、漁業の6次産業化に資する取組を行います。

(ウ)内水面漁業の振興

(継続) 漁協淡水魚放流事業【水産・商工振興課】 135万円

水産動植物の増殖保護と漁獲高の向上を図るため、大又川飛鳥五郷・紀和町、北山川神川の各漁協によるアユ、ウナギ、アマゴの放流に対し、助成を行います。

(エ)後継者育成

(継続) 漁業新規就業者支援事業【水産・商工振興課】 38万円

熊野漁協による漁業新規就業者支援事業に対し補助を行います。

(継続) 漁業担い手対策事業【水産・商工振興課】 92万円

漁業経営体に雇用されたI・Jターン新規漁業就労者の家賃を2年間助成します。

②保健・医療・福祉の充実 「支え助け合い、健やかにいきいきと暮らせるまち」

1 支え合い助け合う福祉の充実

(1)高齢者福祉

(ア)高齢者の健康づくり

(新規) 骨粗しょう症予防事業【健康・長寿課】 84万円

加齢とともに骨密度が低下しやすい女性を対象に骨密度チェックを実施し、健康教育を施すことによって、将来骨粗しょう症になることを防ぎます。

(新規) 成人歯科保健対策事業【健康・長寿課】 39万5千円

歯を失う最大の原因になっている歯周疾患の予防と早期発見を行うため、40歳、50歳の節目の年齢の方に検診、保健指導を行います。

(継続) 介護予防ケアマネジメント事業【健康・長寿課】 4,434万3千円

介護予防事業、新予防給付の対象となる高齢者の把握を行い、対象者に応じた介護予防のケアマネジメントを行います。

(継続) 高齢者生活機能チェック事業【健康・長寿課】 665万9千円

全国統一の問診表により、特定高齢者(介護予防事業への参加が望ましいとされる者)の候補者をスクリーニングし、介護予防事業へとつなげていきます。

(継続) 介護予防一次予防事業【健康・長寿課】 2,018万9千円

65歳以上の高齢者に対する健康教室や転倒予防教室、高齢者伝承遊び普及、アクアエクササイズなどを実施し、生活習慣改善及び要介護予防につなげます。

(継続) 介護予防二次予防事業【健康・長寿課】 177万3千円

要介護状態の予防のため、要介護状態になる可能性の高い高齢者の把握や評価をし、運動機能の向上、栄養相談、口腔機能改善などを実施します。

(イ)高齢者の生きがいと社会参加の促進

(継続) 若返りクラブ事業【健康・長寿課】 144万円

高齢者がいつまでも地域で元気に過ごすために、外出の機会を増やし、長く活動できる趣味と将来にわたって助け合える仲間づくりの場として支援していきます。

(ウ)ともに支え合える地域社会づくり

(増額) 自殺対策事業【健康・長寿課】 300万円(50万円)

講演会の開催や相談機会・情報キャッチの方法を充実させることにより、自殺の予防に努めます。

(継続) 食の自立支援事業【健康・長寿課】 342万円

在宅の一人暮らしの高齢者等に対して、定期的に居宅を訪問し、栄養のバランスがとれた食事を提供するとともに、安否確認、孤独感の解消を図ります。

(継続) 緊急通報装置設置事業【健康・長寿課】 29万7千円

在宅の一人暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置し、高齢者の急病、災害発生時の緊急時等の連絡・援助体制を確立し、不安の解消、日常生活の安全の確保により、高齢者福祉の向上を図ります。

(継続) 元気見守り事業【健康・長寿課】 181万7千円

地区社協の福祉委員を中心として、定期的な訪問やはがき、電話による見守り活動を行い、一人暮らし高齢者等の見守り、安否確認を実施します。

(継続) 家族介護者支援・交流事業【健康・長寿課】 73万1千円

認知症高齢者の家族介護者への相談、指導、介護技術の習得支援、情報交換、交流等を行います。

(エ)相談・支援体制の充実

(新規) メタボリックシンドローム改善強化事業【健康・長寿課】 29万1千円

国民健康保険の特定保健指導の対象者に対し、個別訪問による改善のための指導などを実施して、メタボリックシンドロームの予防、改善を図ります。

(継続) 元気づくり推進員育成事業【健康・長寿課】 96万9千円

平成23年度は市内のモデル地区3地区に元気づくり推進員を配置しましたが、今度も引き続き地域の実情に応じたきめ細かい健康づくりのための戸別訪問活動啓発活動などを行います。

(継続) 元気確認推進事業【健康・長寿課】 5万9千円

元気確認(見守り)を希望される一人暮らし高齢者を把握し、定期的な安否確認を実施します。

(継続) 高齢者ふれあい会食事業【健康・長寿課】 3万2千円

独居高齢者に定期的に集会所等へ集まっておいただき、皆で食事をとりながら介護予防活動等を行っていただきます。5地区で実施します。

(継続) 一人暮らし高齢者等安心生活確保事業(救急医療情報キット配備事業)

【健康・長寿課】 3万9千円

一人暮らし高齢者等の要援護者の有事における救急対策として、飲み薬や血液型、病歴等の医療情報や診察券、健康保険証、緊急時連絡先等の情報をキットにまとめて居宅に配備します。

(継続) 認知症サポーター養成事業 【健康・長寿課】 21万4千円

講師役のキャラバンメイトを養成し、講演会・研修会を開催することで、認知症を理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する認知症サポーターを養成します。

(継続) 総合相談・権利擁護事業 【健康・長寿課】 499万1千円

社会福祉士が中心となり、高齢者の実態把握、総合相談・支援及び権利擁護に関する業務を行います。

(継続) 介護用品支給事業 【健康・長寿課】 511万3千円

重度の介護状態にある高齢者を自宅で介護している市民税非課税世帯の家族に対し、介護用品を支給します。

(継続) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 【健康・長寿課】 492万2千円

地域のケアマネージャーに対する相談、資質向上のための研修や制度施策に関する情報提供、支援困難事例への助言、包括的・継続的なケア体制の構築を行います。

(2)障がい者福祉

(ア)地域生活への移行支援

(増額) 障がい者自立支援事業 【福祉事務所】 4億509万7千円(3億9,236万4千円)

障がいを持った方々に対して、居宅でのホームヘルプサービスや施設でのサービスを提供するほか、補装具や日常生活用具を支給することにより、自立した生活を支援します。

(継続) 障がい者相談員設置事業 【福祉事務所】 5万円

身体障がい者及び知的障がい者の更正援護に関し、本人又はその家族等からの相談に応じ、必要な指導、助言を行うとともに、障がい者地域活動の推進、関係機関の業務に関する協力、障がい者に関する援護思想の普及を行うことにより、障がい者の福祉の増進を図ります。

(イ) 就労支援と社会参加

(継続) 授産施設等通所交通費補助事業 【福祉事務所】 193万6千円

在宅の障がい者、知的障がい者及び精神障がい者が授産施設等に通所するための費用の一部について補助を行います。

(継続) 重度障がい者等管外施設送迎費補助事業【福祉事務所】 16万円

市外施設を利用する重度障がい児(者)に対する移送費用について、補助を行います。

(3) 子育て支援

(ア)母と子の健康づくり

(新規) ロタウイルスワクチン接種助成事業【健康・長寿課】 122万5千円

ロタウイルス感染症の罹患や重症化を防ぐため、ワクチン接種費用の一部を助成します。

(新規) 保育所フッ化物洗口事業【福祉事務所】 47万4千円

虫歯予防のため、保育園児によるフッ化物洗口(うがい)を行います。

(新規) 小学校フッ化物塗布推進事業【教育委員会】 25万2千円

虫歯予防のため、小学校1年生の児童にフッ化物塗布を行います。。

(増額) 幼稚園フッ化物塗布推進事業【教育委員会】 14万7千円(10万4千円)

虫歯予防のため、幼稚園園児にフッ化物塗布を行います。

(増額) 幼児フッ化物塗布推進事業【健康長寿課】 74万円(57万3千円)

虫歯予防のため、1歳6か月、2歳6か月、3歳児にフッ化物塗布を行います。

(継続) 子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン接種緊急促進事業

【健康長寿課】 1,240万1千円

予防接種のうち子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン予防接種に要する費用を補助します。

(継続) 子宮頸がんワクチン接種(高校2年・3年対象)助成事業

【健康長寿課】 36万円

国の子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業において、子宮頸がんワクチン予防接種の接種対象外となる高校2年・3年を対象にワクチン接種費用の一部を補助します。

(継続) 5歳児発達健診事業【健康・長寿課】 15万3千円

注意欠陥多動性障害、高機能広汎性発達障害、学習障害、軽度精神発達遅延の疑いがある子供について小児精神発達専門医師による就学前の健診及び相談を行います。

(継続) 少子化対策・妊婦一般健康診査事業【健康・長寿課】 1,300万6千円

母子保健のしおりを発行するとともに、自己負担なしで受診していただける妊娠健診の助成を5回から14回に拡大します。

(継続) 乳幼児療育教室(すぎっこ教室)事業【健康・長寿課】 52万2千円

発達に遅れのある幼児と保護者を対象に、保育士による集団活動や遊びの指導などによる発達支援のための療育教室を実施します。

(継続) 特定不妊治療費助成事業【健康・長寿課】 50万円

不妊治療を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療に要する経費の一部を助成します。

(継続) 食育推進事業【健康・長寿課】 20万円

幼児とその保護者に対して、教室を開催し、情報誌を発刊することで、親子で食に関する正しい習慣を身につけ、生活習慣病を予防します。

(イ)安心して産み育てられる環境づくり

(新規) 有馬保育所移転事業【福祉事務所】 1,003万5千円

津波浸水被害が予想され避難場所が遠い有馬保育所を金山保育所に移転・統合するため、金山保育所増築事業の設計業務を行います。

(新規) 保育料軽減事業【福祉事務所】 216万3千円

井戸保育所民営化による効率化の成果により、市全体の保育料を平均3%軽減し、子育て世代の経済的負担を減らします。

(新規) 井戸保育所民営化補助事業【福祉事務所】 350万円

平成24年4月から民間移行する井戸保育所の初期必要経費について、ひまわり保育園に補助を行い、効率化を促進します。

(新規) 私立保育所延長保育促進事業【福祉事務所】 970万6千円

就労形態の多様化等に伴う延長保育の需要に対応するため、保護者の希望に応じて、ひまわり保育所、井戸保育所で19時までの延長保育を実施します。

(新規) 乳幼児医療費拡大事業【市民保険課】 602万6千円

平成24年9月診療分から乳幼児医療費助成を小学校6年生まで拡大します。

(増額) 放課後児童対策事業【福祉事務所】 1,461万7千円(1,083万8千円)

保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、授業の終了後に施設を利用して、適切な遊び及び生活の場を提供して健全育成を図っている「くまのっ子学童クラブ」の運営費を支援します。

(増額) 少子化対策・子育て家庭保育サポーター利用助成事業

【福祉事務所】 110万4千円(33万6千円)

子育ての不安感、孤立感を解消するため、小学校就学前の乳幼児を養育している家族が保育サポーターを利用した場合、利用料の2分の1、ひとり親家庭の場合は対象を小学6年生まで拡大し、利用料の4分の3を助成します。

(増額) ひまわり保育園運営費補助事業 【福祉事務所】 713万3千円(310万2千円)

ひまわり保育園に対して職員研修費や看護師等の雇用、低年齢児保育の実施などに要する経費の一部を補助し、保育サービスの充実を図ります。

(増額) 母子家庭高等技能訓練促進事業 【福祉事務所】 1,041万8千円(851万円)

母子家庭の母が就職の際有利になるよう、かつ生活の安定に資する資格の取得を推進するため、看護師、介護福祉士等の資格を取得する経費の一部を助成します。

(増額) 少子化対策・ふるさと商店街子育て支援事業

【水産・商工振興課】 24万8千円(11万8千円)

3人以上子どもがいる世帯に対して、市内の店舗で割引などのサービスが受けられるパスポートを発行します。

(継続) 子育て支援事業 【福祉事務所】 1,002万6千円

金山保育所内に職員を配置して保護者の育児不安や悩みに対する電話・面接相談及び情報提供を行い、子育て支援を行います。

(継続) 熊野市ファミリーサポートセンター事業 【福祉事務所】 210万円

ファミリーサポートセンターを設立し、児童の預かりについて連絡・調整を行います。

(継続) 子どものための手当給付事業 【福祉事務所】

2億3,826万円(3億3,056万8千円)

3歳未満の子ども一人につき月額1万5千円を、3歳以上小学校修了までの子ども(第1子、第2子)は月額1万円、3歳以上小学校修了までの子ども(第3子以降)は月額1万5千円、中学生は月額1万円を支給します。所得制限以上の方には月額5千円を支給します。

(継続) 少子化対策・ひとり親家庭自立支援事業 【福祉事務所】 135万円

くまのっ子学童クラブに入所するひとり親家庭の保育料の2分の1を補助します。

(継続) 少子化対策・婚活拡充事業 【福祉事務所】 27万4千円

男女の出会いの場を作るため、バスツアーや親同士の交流会を実施します。

(継続) チャイルドシート購入費補助事業【福祉事務所】 45万円

6歳未満の乳幼児のために購入したチャイルドシートの購入者に対し、助成を行います。

(継続) 少子化対策・多子家庭応援事業【福祉事務所】

18歳以下の子どもが3人以上いる世帯で、第3子以降が保育所に入所する場合、保育料を第3子は月額5千円、第4子は月額7千円、第5子以降は月額1万円をそれぞれ減額します。

(継続) 少子化対策・土曜日延長保育事業【福祉事務所】 68万8千円

引き続き土曜日の開所時間を延長し、保育サービスの充実を図ります。

①土曜日午後5時まで延長

有馬、金山

②土曜日午後1時まで延長

新鹿、木本、五郷、板屋、神川

(継続) 母子家庭自立支援教育訓練給付事業【福祉事務所】 20万円

母子家庭の母の主体的な能力開発の取り組みを支援し、母子家庭の自立の促進を図るため、就業に結びつく可能性が高く、国が定める講座等の受講費用の一部を助成します。

(ウ)地域や社会で子育てを支える環境づくり

(増額) 老人とのふれあい事業【福祉事務所】 96万8千円(66万1千円)

保育園児と地域の老人との季節行事や手作り玩具の製作・伝承遊び等を通じてふれあいを図り、子どもには「人を敬う心」を醸成するとともに、高齢者の生きがいづくり、社会参加を促進します。

(4)社会保障等

(ア)福祉医療

(継続) 障がい者医療費助成充実事業【市民保険課】 148万3千円

療養手帳所持者の医療面での負担軽減を図るため、療養手帳A最重度・重度に上乗せして、B中度所持者の療養費を助成します。

2 健康長寿の推進

(1)健康づくり

(ア)健康づくり意識の向上

(増額) がん検診推進事業【健康・長寿課】 377万5千円(239万5千円)

がん健診の受診率を高めるため、啓発活動を実施したり、予防のための生活習慣について PR などを行います。また、乳がん、子宮がん、大腸がんの対象者に検診手帳、クーポン券と共に受診案内を送付し、有効期限内に受診した方に健診費用を補助します。

(継続) 任意予防接種(肺炎球菌ワクチン)補助事業【健康・長寿課】 96万円

高齢者の肺炎で最も頻度が高いとされている肺炎球菌による肺炎の発症及び重症化、死亡を防ぐため、肺炎球菌ワクチン接種費用の一部を補助します。

(継続) 麻しん、風しん予防接種推進事業【健康・長寿課】 591万1千円

麻しん、風しんの予防接種を強化するため、中学1年生について各学校での集団接種と個別接種を併用し、推進します。

(イ) 生活習慣病予防

(継続) 健康相談・意識啓発・訪問指導事業【健康・長寿課】 15万7千円

健康診査受診者に対して個別相談、事後指導通知及び家庭訪問を実施し、本人やその家族に対し必要な保健指導を行います。

(継続) メタボリックシンドローム対策事業【健康・長寿課】 56万2千円

くまのウェストメジャーリーグを実施して、生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防、介護予防を目指します。

(2)医療体制

(ア)救急医療体制の充実

(継続) 救急救命士養成事業【消防署】 240万8千円

平成24年度においても1人養成を行います。また、現在救急救命士の資格を所有している隊員については、順次気管挿管の実習を実施します。

③教育・文化の振興 「人・歴史・文化を育み、心の豊かさに包まれたまち」

1 市民文化の創造

(1)文化芸術

(ア)文化芸術に触れる機会の提供

(増額) 文化交流センター企画事業【教育委員会】66万円(50万円)

文化交流センターにおいて展示会を企画・実施するとともに、来館者参加型のイベントを開催します。

(継続) 文化公演実施事業【教育委員会】954万8千円

芸能文化に接する機会の少ない当地方において、芸能文化を鑑賞する機会をつくるとともに、地域文化の創作・育成を目指す企画も取り入れ、市民文化の向上を図ります。

(イ)総合的・体系的な生涯学習の推進

(継続) 図書ボランティア養成事業【教育委員会】28万8千円

これまでの読み聞かせに加え、本の配架や補修等もできるボランティアを養成します。

(ウ)文化芸術活動の場の提供

(新規) 市民会館階段昇降機設置事業【教育委員会】440万円

市民会館の1階から3階までの階段に昇降機を設置し、高齢者や障がい者の利便性を向上します。

(継続) 図書館図書購入事業【教育委員会】2,000万円

図書館図書を購入します。

(エ)文化的資源の継承と活用

(新規) 紀和鉱山資料館体験学習事業【教育委員会】7万4千円

鉱山ズリ場や坑道での体験学習事業を実施し、日常経験できない鉱山体験を通じて、鉱山への関心を深め、資料館の魅力発信につなげます。

(増額) 熊野街道歴史の道整備活用推進事業【教育委員会】140万2千円(129万4千円)

世界遺産登録されている熊野古道の清掃、枝払い等を行い、きれいに保つことによって、イメージアップを図り、来訪者の増加につなげます。

(継続) 新「熊野市の文化財」図書編纂事業【教育委員会】13万円

合併後の新熊野市における文化財の内容をまとめた図書「熊野市の文化財」を編纂します。

(2)国際交流

(ア)国際交流の推進

(継続) 国際交流推進事業【市長公室】166万3千円

姉妹都市であるソレント市とバストス市との交流を推進します。また、ソレント市及びバストス市からの児童研修生の受け入れを行います。

(継続) 児童海外研修事業【教育委員会】300万円

姉妹都市であるソレント市に小学生5人を派遣します。

(3)地域間交流

(ア)友好都市との交流推進

(新規) 他地域交流検討事業【市長公室】28万7千円

宮崎県日向市とは、基石(那智黒石とハマグリ)や神武天皇東征の出発地と到着地などでつながりがあることから、今後新たな交流先として調査、検討を行います。

(継続) 友好都市交流事業【市長公室】14万1千円

友好都市である奈良県桜井市との友好を深めるため、熊野市からは「ウォーキングフェスティバル」や「さくらい農・商ふれあいフェスタ」などへ、桜井市からは「熊野大花火大会」などへの参加をはじめ各種交流事業を行います。

2 生涯学習社会の形成

(1)学校教育(義務教育)

(ア)学力向上の推進

(新規) 学力向上支援事業【教育委員会】32万円

小中学校において観点別学習達成調査を実施し、その分析結果に基づく学力向上プランを作成し授業改善を行うことで、児童・生徒の学力向上を目指します。

(継続) 放課後学習プラン事業【教育委員会】109万2千円

市内小中学校6校を対象に、放課後3時間の学習会を開催し、学力向上を図ります。

(継続) 夏休み学習プラン事業【教育委員会】43万2千円

市内小中学校6校を対象に、夏休みに20日間の学習会を開催し、学力向上を図ります。

(継続) 外国語指導助手(ALT)配置事業【教育委員会】1,489万4千円

外国語指導助手(ALT)を3名体制とし、市内小・中学校の児童・生徒と総合的な学習の時間、英語の時間等において交流、学習を行うことにより、国際感覚にあふれた人材を育成します。

(継続) 特色ある学校づくり事業【教育委員会】150万円

児童生徒の実態や教育的ニーズを踏まえたうえで、学校独自の目標を立て「学力の向上」「社会性の育成」を目指します。

(イ) 教職員の資質の向上

(継続) 学力向上推進研修事業【教育委員会】16万円

全国学力学習状況調査の結果を受け、研修会を開催し、授業方法の工夫と改善につなげます。

(ウ) 心の教育の推進

(継続) 小中学校学級用図書購入事業【教育委員会】226万1千円

児童生徒の読書の量と質の向上のため、学級用図書を購入します。

(エ) 特別支援教育の推進

(継続) 臨時特別支援教育支援員設置事業【教育委員会】4,140万1千円

知的、身体的障がいのある児童生徒に支援員を配置します。

(オ) 安全・安心な学校環境の整備

(新規) 新鹿中学校屋内運動場改築事業【教育委員会】2億1,799万9千円

校舎に引き続いて、新鹿中学校屋内運動場の改築事業を実施します。

(新規) 小・中学校防災機能強化事業【教育委員会】1,940万円

有馬小学校、井戸小学校、遊木小学校に屋上フェンスの設置などを行い、木本中学校には自家発電設備の設置などを行って、緊急の避難場所としての学校の機能を強化します。

(新規) 木本小学校校舎改修事業【教育委員会】 3,000万円

木本小学校の外壁改修工事などを行います。

(2) 学校教育

(ア) 防災教育

(新規) 小・中学校防災教育事業【教育委員会】 62万1千円

大規模災害時に児童生徒及び教職員が万全に対応できるよう、地域の実態に応じた防災教育を行います。

(イ) 高等学校等への要請と協力

(継続) 奨学金貸付事業【教育委員会】 720万円

大学、高等専門学校、専修学校で経済的理由により就学困難な生徒に対し、月額5万円を奨学金として貸与し、卒業後毎月2万円の償還を受けます。

(3) 生涯学習

(ア) 多様な生涯学習機会の提供

(継続) 生涯学習事業【教育委員会】 250万円

高度情報化、国際化等に対応した学習機会をつくるため、「熊野市市民大学」、「まちの人材活用事業」、「イタリア語教室」等の講座を開設します。

(4) 生涯スポーツ

(ア) 生涯スポーツの普及・促進

(継続) 「チャレンジレスキュー2012」事業【教育委員会】 5万2千円

泳げない子どもも参加できるプールでの運動会を実施します。

(継続) ヨット体験事業【教育委員会】 1万8千円

小・中学生を対象にヨット体験教室を開催します。

(継続) カヌー川下り体験事業【教育委員会】 9万円

小学生以上を対象にカヌーでの川下り体験を実施します。

(継続) 水泳教室事業【教育委員会】 11万円

大人と子どもを対象とした初級者水泳教室を夜間に開催します。

(継続) くまの総合型地域スポーツクラブ運営事業【教育委員会】 123万1千円

国・県が推進する生涯スポーツ社会の実現に向けて、子どもから高齢者、障がいのある人

まで、様々なスポーツを愛好する人々が積極的に参加することのできるスポーツ教室等の取組を行っている総合型地域スポーツクラブに対し、助成を行います。

(継続) 市民健康スポーツ祭開催事業 【教育委員会】 50万円

子どもから高齢者、障がいを持つ人まで全市民を対象に積極的に参加することのできるスポーツ祭を開催し、地域の生涯スポーツ振興を図り、「市民1人1スポーツ運動」を推進します。

3 人権尊重社会の形成

(1)人権の尊重

(ア)人権問題への総合的な取組

(継続) 人権啓発事業 【市民保険課】 64万5千円

広く人権意識の高揚を図るため、人権に関する講演会とコンサートを行います。

(継続) 人権問題学習事業 【教育委員会】 20万円

人権講演会を通じて異文化を理解し、人権啓発・人権教育を推進します。

(2)男女共同参画社会

(ア)一人ひとりを認め合う意識づくり

(継続) 男女共同参画推進事業 【市長公室】 13万8千円(135万1千円)

男女共同参画の普及のために各種啓発活動を行います。また、東紀州5市町で連携し、持ち回りで映画を上映します。

④生活環境の整備 「人・まち・自然が共生する、安全・快適なまち」

1 美しく魅力ある景観の整備

(1)土地利用

(ア)適正な土地利用の推進

(継続) 地籍調査事業【建設課】 527万4千円

道路整備計画予定地における公図の混乱を解消し、国道の整備促進を図ります。

(2)市街地の整備

(ア)計画的な市街地の整備

(新規) オール熊野世界NO.1フェスティバル開催事業【市長公室】 470万円

熊野市駅前において、市内各地域の住民同士の絆の再確認や地域内の活力再生、市全体のPRのため、全市民参加型のイベントを実施します。

(新規) 都市公園・安全安心対策緊急総合支援事業【建設課】 4,687万7千円

子育て支援の一環として市内各都市公園の遊具や照明設備等の改修を行います。

(増額) 電線共同溝整備事業【建設課】 1億1,052万2千円(3,150万2千円)

都市景観の向上、安全で快適な通行空間の確保などを図るため、西川町獅子岩線の無電柱化事業を実施します。

(増額) 誘客と周遊による活性化推進事業【市長公室】 3,613万2千円(10万円)

高速道路の開通までに、駅前、記念通り、本町通りと鬼ヶ城・花の窟をつなぐ中心市街地を観光客が回遊できる仕組みを作り、にぎわいを創出するため、本町通りの歴史を感じる商家を購入して、まちなかの集客拠点として整備します。

(継続) 熊野市駅前周辺街並景観整備事業【建設課】 100万円

駅前周辺の家並みの熊野らしいデザインでの統一化を図ります。

(継続) 社会資本整備総合交付金事業【建設課】 6,537万1千円

地域住民の生活環境の向上を図るため、平成24年度は、久生屋線、千儀鬼ヶ城線、瀧線の改良事業を実施します。

(3)花のまちづくり

(ア)花いっぱい運動の普及

(新規) インフィオラータ作成事業【市長公室】 72万2千円

オール熊野世界NO. 1フェスティバルに合わせて、花びらを敷き詰めて1枚の絵にする「インフィオラータ」を作成し、市内外へ花いっぱい運動のPRを行います。

(継続) 花いっぱい運動事業【市長公室】 141万円

育苗施設を活用した花づくり、市内の花グループで組織する「くまの花いっぱいネットワーク」の事業に対して助成を行い、「花のまちづくり」を推進します。

2 安全で快適な居住環境の充実

(1) 防 災

(ア) 住民意識の高揚と自主防災組織の強化

(新規) 自主防災組織研修事業【防災対策推進課】 175万7千円

自主防災組織を対象とした講演会の実施や体験型防災学習施設での研修を数多く行って、防災に関する市民の意識の高揚を図ります。

(新規) 自主防災組織アマチュア無線免許取得事業【防災対策推進課】 147万9千円

災害時の情報伝達手段としてアマチュア無線を活用するため、自主防災組織がアマチュア無線の免許を取得する費用に対して補助を行います。

(継続) 自主防災組織資機材整備事業【防災対策推進課】 50万円

防災資機材を整備する自主防災組織に対して補助を行います。

(イ) 災害に強い構造のまちづくり

(新規) 市庁舎電気設備棟整備事業【総務課】 1億9,560万円

大規模な地震・津波から災害対策本部機能を確保するため、市庁舎横の高台に受変電設備、自家発電設備等を整備し、浸水被害を抑えます。

(新規) サーバルーム移転事業【総務課】 12,800万円

総合住民情報システム、戸籍システム等に係るサーバルームを庁舎1階から6階に移転し、津波による被害を最小限に抑えます。

(新規) 災害対策本部機能確保事業【総務課】 100万5千円

大規模災害時において、市庁舎の災害対策本部機能を確保するため、非常用浄水装置を配備します。

（新規）職員アマチュア無線免許取得事業【総務課】 68万3千円

災害時の情報伝達手段としてアマチュア無線を活用するため、職員にアマチュア無線の免許を取得させます。

（新規）防災行政無線中継局用発電機整備事業【防災対策推進課】 53万6千円

災害発生時、住民に迅速確実な情報を提供するため、防災行政無線の長尾山、ツエノ峰中継局に非常電源用発電機を整備します。

（新規）雨量計整備事業【防災対策推進課】 75万2千円

上川、神川、育生出張所、市庁舎に雨量計を整備することにより、浸水、土砂崩れ等の災害発生を予測し、住民の早めの避難に役立てます。

（新規）衛星インターネット整備事業【防災対策推進課・消防署】 91万7千円

大規模災害時の情報収集や通信手段の確保のため、市庁舎、消防署に衛星インターネットを整備します。

（新規）津波ハザードマップ整備事業【防災対策推進課】 774万5千円

津波からの住民の速やかな避難に役立てるため、国の中央防災会議の被害想定から作成した津波シミュレーションに基づき、津波ハザードマップを作成し配布します。

（新規）津波避難施設調査検討事業【防災対策推進課】 11万5千円

大規模地震の際、住民の安全を確保するため、津波避難施設の調査検討を行います。

（新規）戸籍及び住民基本台帳データ保護対策事業【市民保険課】 29万円

大規模災害に備え、現在の市庁舎以外に紀和総合支所でも戸籍及び住民基本台帳データ等の保管を行います。

（新規）保健福祉センター地下駐車場進入路改修事業【健康・長寿課】 200万円

井戸川氾濫に備えて、保健福祉センターの地下駐車場入口をかさ上げして地階への浸水を抑制します。

（新規）避難時お薬手帳、薬剤携帯袋配布事業【健康・長寿課】 57万6千円

避難時に自分の命を守る服薬情報や薬剤を持って逃げてもらえるように、携帯袋を配布、啓発し、医療依存度の高い方の二次災害を防ぎます。

（新規）荒坂診療所耐震診断事業【健康・長寿課】 94万4千円

荒坂診療所の耐震診断を行って、耐震補強工事が必要かどうか判断します。

（新規）新鹿漁港海岸保全施設改良事業【水産・商工振興課】 264万6千円

新鹿海岸に設置されている護岸に、開閉操作が容易な門扉を設置し、台風による高波時

の閉鎖措置を速やかに行えるようにします。

- (増額) 家具転倒防止器具取付事業【防災対策推進課】65万7千円(32万)
災害要援護者の地震対策として、家具転倒による被災を防止するため、L字型金具等を取り付けます。
- (増額) 緊急時浄水器整備事業【防災対策推進課】73万5千円(36万8千円)
大規模災害時に孤立が予想される地区において、緊急時用浄水器の整備を行います。
- (増額) 災害時避難所整備事業【防災対策推進課】159万2千円(76万8千円)
大規模災害時、避難所の運営に必要な設備を整備します。
- (増額) 災害時用非常食・飲料水整備事業【防災対策推進課】78万6千円(47万1千円)
大規模災害時の避難者のための非常食及び非常飲料水を備蓄します。
- (増額) 木造住宅耐震補強補助事業【防災対策推進課】2,550万円(966万円)
地震の際に、倒壊の危険性の高い木造住宅の耐震補強工事を行う住宅に対して補助を行います。
- (増額) 木造住宅耐震補強設計費補助事業【防災対策推進課】400万円(160万円)
木造住宅の耐震補強設計費への補助を行います。
- (増額) 停電時避難誘導灯整備事業【防災対策推進課】564万8千円(188万3千円)
災害時に停電しても自動的に点灯する街灯を整備することで、停電時の夜間の避難に備えます。
- (増額) 耐震シェルター設置費補助事業【防災対策推進課】400万円(250万円)
地震の際に、倒壊の危険性の高い木造住宅の居室等に耐震シェルター設置する場合に補助を行います。
- (増額) 避難路整備事業【建設課】3,000万円(500万円)
大規模地震・津波時の速やかな避難を図るため、避難路における階段手すり整備や路面の補修などを行います。
- (増額) 防災公園整備事業【建設課】1,590万円(平成22年度250万円)
オレンジホテル跡地に、スポーツ集客のための野球場、室内練習場を備え、大規模災害時には復旧・復興活動の拠点となる公園を整備します。平成24年度は基本設計を行います。
- (継続) 木造住宅耐震診断等事業【防災対策推進課】450万円

昭和56年5月31日以前着工の木造住宅について、市民からの希望を募り耐震診断を実施します。

(継続) 急傾斜地崩壊対策事業【建設課】200万円

甫母地区外1地区の急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を負担します。

(継続) 津波避難路ブロック塀等除去改修事業【防災対策推進課】100万円

津波浸水予想地域の避難路に面するブロック塀等の除去、改修に対し補助を行います。

(2)消 防

(ア)消防力の充実強化

(新規) 飛鳥分団車両更新事業【消防署】893万5千円

老朽化している飛鳥分団小阪の小型動力ポンプ車を更新し、消防力を強化します。

(3)住宅・住環境

(ア)住宅取得の支援

(継続) 空家情報公開事業【水産・商工振興課】5万1千円

市内の山間部・海岸部にある空家を貸したいという人を募集し、市のホームページや広報を通じて空家情報を公開し、借りたい人を募集します。

(4)道 路

(ア)市道の整備推進

(増額) 道路新設改良事業【建設課】5,180万円(4,650万円)

市道における車輛通行不能箇所及び通行困難箇所の解消を図ります。

(継続) 橋梁長寿命化修繕計画事業【建設課】400万円

市道の長さ15m以下の橋梁の点検を行います。

(継続) 道路維持事業【建設課】6,500万円

市道における狭小な断面の側溝や、老朽化した側溝を蓋付き側溝に改修し、排水性の向上や通行の安全性を確保します。

(6)交通体系の整備

(ア)公共交通の確保

(増額) バス運行対策事業【市長公室】 8, 103万円(6,462万3千円)

路線バス廃止後の代替交通手段確保策として、乗合バス事業者に委託し、自主運行バスを5路線運行します。地域住民の生活交通を確保するため、災害で県道が寸断されている神川、育生、井戸町瀬戸地区に対して、迂回してバスを運行します。

運行路線 清流・那智黒石の里線、潮風かほる熊野古道線

瀬流荘紀南病院線、熊野古道瀬流荘線、飛鳥五郷線

(増額) 第3種生活路線維持事業【市長公室】 711万7千円(684万9千円)

市民の生活交通確保と交通利便を図ることを目的に、市内1路線を維持するため、三重交通(株)に対して、赤字の一部を補助します。

(継続) 福祉バス運行事業【健康・長寿課】 643万円

①紀和町全域において、バスの未運行地域に福祉バスを運行し、地域の高齢者が安心して生活ができるよう利便性を確保します。

②JR、バスが運行されていない須野・甫母地区、育生地区、神川地区にワゴン型乗用車を運行し、高齢者の生活利便性の向上を図ります。

(イ)地域交通体系の構築

(継続) 地域公共交通会議運営事業【市長公室】 31万円

市が運行主体となる地域公共交通の実施及び態様の検討のため、地元住民及び関係機関の間で協議を行い、合意形成を図ります。

(継続) 過疎交通対策推進事業【市長公室】 32万9千円

平成22年度から実施された過疎地有償運送制度に対して、継続的な意向調査を実施します。

(7)住宅・住環境

(ア)住宅取得の支援

(新規) 市営住宅改修事業【建設課】 2, 111万4千円

第1所山団地の耐震補強、外壁改修工事を実施します。

(8)災害復旧事業

(増額) 災害復旧事業【総務課、農業振興課、林業振興課、観光スポーツ交流課、建設課、
教育委員会】 17億9,210万1千円 (1,811万円)

台風12号により甚大な被害を受けた道路、河川、水路、林道などの復旧事業を行い、1日も早い復興を目指します。

3 環境保全の推進

(1) 廃棄物処理

(ア) 廃棄物の減量化

(継続) 電気式生ごみ処理機・生ごみ処理容器購入費補助事業【環境対策課】 66万円
電気式生ごみ処理機・生ごみ処理容器購入者に対し補助を行います。

(イ) 廃棄物処理体制の充実

(新規) 廃棄物処理機購入事業【環境対策課】 260万円

廃棄物として収集される発泡スチロールの処理機を購入し、資源化します。

(増額) 汚泥再生(し尿)処理センター建設事業【環境対策課】

2億778万9千円(2,477万8千円)

耐用年数を経過し老朽化した現在の施設に代わる、汚泥再生処理センターの27年度までの完成を目指し、設計、工事に入ります。

(2) 環境保全

(ア) 水環境・自然環境の保全

(継続) 休廃止鉱山鉱害対策事業【環境対策課】 755万7千円

休廃止鉱山にかかる鉱害防止を図るため、紀州鉱山において坑廃水処理事業者(財団法人資源環境センター)が実施する坑廃水処理に要する経費の一部を助成します。

(継続) よみがえれ大又川連絡協議会活動事業【環境対策課】 25万円

大又川の水質の再生を目指して生活雑排水処理施設の効力の研究、合成洗剤から石鹼への切り替え運動等を実施している連絡協議会の活動費用の一部を助成します。

(イ) 地球温暖化の防止

(継続) 緑のカーテン運動推進事業【環境対策課】 22万9千円

地球温暖化の進行を抑制するため、夏場の冷房によるエネルギー消費量削減に効果がある緑のカーテン(壁面緑化)運動を推進します。

(ウ)環境美化と環境衛生

(継続) 全市民によるごみ拾い運動事業【環境対策課】 1万5千円

6月を全市民によるごみ拾い運動月間と定め、市民に1人1個のごみ拾い運動への参加を呼びかけます。

(継続) 不法投棄防止対策事業【環境対策課】 23万円

不法投棄パトロールの実施、カメラの設置等を行い不法投棄のないきれいなまちづくりを目指します。

(継続) 熊野市環境美化ボランティア推進事業【環境対策課】 4万8千円

環境美化の維持を目的として、単独で環境美化を行っているボランティア団体へ清掃用具の提供、ボランティア保険の加入、サインボードの設置等の助成を行います。

⑤まちづくりの進め方

1 市民と行政の協働によるまちづくり

(1)市民参加の推進

(ア)情報の共有と広報・広聴の充実

(新規) 熊野市総合計画策定事業【市長公室】640万2千円

まちづくりを総合的かつ計画的に推進するため、第1次熊野市総合計画後期基本計画の作成、配布を行います。

(新規) なんでもつづり改訂事業【市民保険課】163万1千円

行政サービスの周知や住民がより市役所のサービスを利用しやすくするため、くまの市なんでもつづりの改訂を行います。

(継続) 広報紙内容充実事業【市長公室】12万円

広報クイズを実施し、市民参加型の広報紙として内容を充実し、市民と行政のコミュニケーションを深めます。

(継続) 市民意識調査事業【市長公室】29万3千円

市民アンケート調査で市民生活の状況や行政サービスに対する評価、満足度、ニーズを把握し行政運営に生かします。

(2)地域コミュニティの育成強化

(ア)地域コミュニティ活動への支援

(継続) 過疎集落維持活性化推進事業【市長公室】2,104万5千円

各地区へ「地域おこし協力隊」及び「集落支援員」を配置し、集落機能の強化を図ります。

(継続) 田舎暮らし体験事業【水産・商工振興課】28万円

移住希望者の定住促進を図るため、市が空家を借り受け、移住希望者に短期間(1ヶ月程度)の田舎暮らしを体験してもらいます。

(継続) 移住・交流推進事業【市長公室】31万8千円

都市部での移住・交流に関する情報発信等、都市部の移住希望者のニーズにあった移住・交流事業を推進し、定住人口の増加を目指します。

(継続) あいさつ運動推進事業【市民保険課】25万6千円

地域の絆の再生、市民のおもてなし力の向上により防犯・環境・交流の各分野で地域力を高めます。

(継続)「美し国おこし・三重」支援事業【市長公室】72万円

地域の多様な主体が、地域の特色ある自然や歴史・文化などを活用して取り組む地域づくり活動について、立ち上げ段階での財政的支援並びに人材育成及び活動への助言等の支援を行います。

(イ)地域まちづくり協議会の充実

(新規) 地域まちづくり協議会活動報告事業【市長公室】34万円

オール熊野世界NO.1フェスティバルに合わせて、各地区地域まちづくり協議会の活動を文化交流センターで展示し、活動の認知度の向上、意欲高揚を図ります。

(継続) 地域まちづくり協働事業 1,693万6千円

各協議会において策定された総合計画に基づき、平成23年度に引き続き住民と市が協働で実施する「公助」の事業をまちづくり協働事業と位置づけ、補助金を交付するとともに、職員をアドバイザーとして協議会に参加させるなどの支援を行います。

(各地域の事業内容等についてはP54、55)

(ウ)環境整備

(新規)平谷公民館修繕事業【教育委員会】22万円

台風12号で屋根が被災した平谷区が所有する公民館の修繕費用の一部を補助します。

(新規)楊枝公民館修繕事業【教育委員会】20万6千円

楊枝区が所有する公民館の浄化槽及びトイレの修繕費用の一部を補助します。

(新規)所山集会所修繕事業【教育委員会】279万9千円

台風12号で浸水し、多大な被害を受けた所山区が所有する集会所の修繕費用の一部を補助します。

(新規)小船集会所兼診療所建設事業【地域総合課・教育委員会】1,500万円

台風12号で流出した小船集会所兼診療所を再建します。

(3)市民活動の促進

(ア)市民活動と行政との協働の推進

(継続)若者・女性による元気な熊野市懇談会事業【市長公室】64万1千円

30代～40代の若い世代や女性と市役所幹部との懇談会を実施し、地域活性化の施策を検討します。

2 市民本位の行政

(1)行政サービスの向上と行財政改革の推進

(ア)市民に信頼され感謝される職員の育成

(継続) コーチング研修事業【総務課】 200万円

コーチング技術の習得と実践を繰り返すことにより問題点を解消し、コミュニケーションの意識を醸成していきます。

職員個々のコミュニケーション能力を向上させることで分権社会にその独自性、自主性を発揮し組織力を向上させます。

(継続) 職員企業等派遣研修事業【総務課】 74万2千円

職員を民間企業に派遣し、民間企業の「顧客感覚、経営感覚」などの厳しさを研修させることにより、職員の意識改革と資質の向上を図ります。

(イ)市議会本会議のケーブルテレビ中継

(新規) 市議会本会議映像ケーブルテレビ中継事業【議会事務局】 39万8千円

市政への関心を今以上に高めるため、市議会本会議の様子をケーブルテレビの行政チャンネルで生中継します。

3 財政健全化に向けた取り組み

(1)人件費の削減

(ア)退職職員の不補充(退職10人、採用2人)による減 4,600万円

(2)公債費繰上償還の実施

(ア)繰上償還を実施し、後年度公債費の負担を軽減させます。

繰上償還額 3億3,162万円

平成24年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	事業名	事業の目的 事業の内容	予算額 (千円)	担当課
荒坂	荒坂ミニファーム2010事業 (H22～)	① 「えごま」「金ゴマ」を栽培し採算性を見込みを探る ② 引き続き「ひょうたん」の加工方法の研究 遊休農地を利用した「えごま」・「金ゴマ」の栽培、「ひょうたん」絵付けなどの加工	187	農業振興課
遊木	広報設備整備事業	情報伝達手段の整備 屋外掲示板を町内3ヶ所に設置	624	市長公室
新鹿	災害に強いまちづくり整備事業 (H19～)	災害時における避難路等の整備 停電時避難誘導灯及び避難誘導看板の設置	1,864	防災対策推進課
	花づくり事業	町内景観の向上 町内花壇の整備	136	市長公室
	小計		2,000	
波田須	波田須ハーブ事業	ハーブの生産、加工、試験販売 レモングラスを栽培し、加工（アロマオイル・蒸留水等）し試験販売を実施	850	農業振興課
	波田須ファンクラブ事業	波田須出身者など縁のある方をリスト化し交流人口の増加につなげる 不特定多数ではなく、ターゲットを絞った情報発信を行う。	100	市長公室
	小計		950	
磯崎	水源地復活・活用事業	水源地を復活させ市場での活用や災害時の断水に備える ① 水源地の改修、水源地周辺の維持管理作業 ② 簡易浄水器の購入 ③ 水源地からのパイプの点検・修理作業	784	防災対策推進課
大泊	環境美化普及事業 (H21～)	地域環境の改善を図る ① EMの普及を目的とした講演会の開催 ② 各家庭において培養・使用 ③ 水質検査の実施	374	環境対策課
木本	木本町出身のオリンピック選手顕彰事業 (H20～)	木本町出身のオリンピック選手の資料整備、展示、広報 木本町出身オリンピック選手の収集資料の加工・製作、資料の展示、協力を求めるチラシの作成及び配布	141	教育委員会
	「ホタル川」づくり事業 (H21～)	ホタルを定着させるために餌となるカワニナを養殖する ① カワニナの養殖、生育環境の整備 ② 活動チラシの配布	42	環境対策課
	ウォーキングコース設置事業 (H21～)	ウォーキングイベントを開催し町民の健康増進を図る ① ウォーキングイベントを定期的に行い、チラシ作成	126	健康・長寿課
	小計		309	
井戸	井戸川環境美化普及事業 (H17～)	EMによる井戸川の環境美化 ① 井戸川へのEM団子及び活性液の投入 ② 井戸川周辺の草刈とすすきの除草 ③ 近自然工法講演会の開催	427	環境対策課
有馬	花の里づくり事業	花の地域産品創出と景観づくり 遊休農地等を活用した花卉栽培	680	農業振興課
	河川清掃事業	河川環境美化 河川清掃効果向上のために作業道を取り付ける	265	農業振興課
	海拔表示板設置事業	防災意識（津波からの避難）意識の向上 海拔表示板をごみステーションに設置する	370	防災対策推進課
	錦の御幡献上行列開催事業	錦の御幡献上行列の開催 地域の伝承を今の時代に甦らせることで、地域の絆を強化し、地域活性化を図る。	685	観光スポーツ交流課
	小計		2,000	

平成24年度 地域まちづくり協働事業一覧表

地区	事業名	事業の目的	予算額 (千円)	担当課
		事業の内容		
久生屋	久生屋地区安全安心のまちづくり事業	防災意識の高揚と避難方法の確立	219	防災対策推進課
		①海抜表示の設置 ②地区防災マップの作成 ③地域の実情に合わせた避難方法の検討と避難訓練の実施		
金山	環境美化活動推進事業 (H18～)	ホテルの里づくりによる住民の環境美化に対する意識の向上	25	環境対策課
	ビューポイント整備事業 (H20～)	住民や来訪者の憩いの場づくり	132	観光スポーツ交流課
		遊休農地をビューポイントとして整備		
	伝統文化継承事業	無形民俗文化財「金山相撲とり踊り」の後継者育成	335	教育委員会
		衣装等を作成し、踊りを披露しながら後継者の育成する		
小計			492	
育生	とこね広場周辺整備事業 (H17～)	町内外の人達の交流と憩いの場づくり	1,017	農業振興課
		① 玄関屋根増設 ② 立ち木手入れ作業 ③ 草刈り作業		
神川	文化財修理活用事業	史跡の土塁の修理及び観光資源としての活用	2,000	教育委員会
		①史跡「竹原八郎屋敷跡」の土塁修理 ②史跡の文化財としての観光資源活用		
五郷	新地場産業興し研究事業 (H19～)	新たな地場産業による地域の活性化	1,070	農業振興課
		お茶の栽培及び加工(茶葉乾燥機の購入)		
飛鳥	すきま野菜産地化計画事業 (H19～)	① 農地の遊休化の防止 ② 直売所における安定的な製品の確保 ③ 農家の所得の向上	141	農業振興課
		① 多品種野菜生産の産地化 ② 希少性が高く、地域で栽培可能な野菜の有機的農法による生産 ③ 年間を通して販売ができる野菜類の栽培研究		
	飛鳥地区助け合い事業	ボランティアグループを組織し、運営の手助けをしていく	85	健康・長寿課
		各地区にボランティアグループを組織・運営		
自然活用活性化事業		自然を活用した地域おこし	231	環境対策課
		小又地区のビオトープ「めだかの学校」を活用した地域活性化事業		
小計			457	
上川	高齢者支援、地域景観保護事業 (H18～)	快適な生活環境と地域の美しい景観の整備	946	環境対策課
		① 高齢者の住宅周辺の除草及び樹木の伐採 ② 道路や公共施設周辺の樹木の伐採		
	農作物試験栽培事業	レンコンの試験栽培	509	農業振興課
		レンコンの試験栽培それに伴う獣害対策の実施		
小船地区環境整備事業	地域活動のための環境整備	1,672	観光スポーツ交流課	
	小船梅林にステージの設置し活用を図る			
小計			3,127	
入鹿	環境美化事業	観光資源周辺の環境美化	199	環境対策課
		千枚田、布引の滝などの観光資源のごみ拾いや草刈りの実施		
西山	赤木城史跡周辺イメージアップ事業 (H19～)	赤木城史跡景観保全	288	教育委員会
		①景観を損ねている立木の伐採 ②案内看板の設置		
	小森地区地域活動支援事業	地域活動のための環境整備	412	農業振興課
		① 耕作放棄地の草刈 ② 獣害の被害が著しい公園へ獣害防止策の設置		
小計			700	
合計			16,936	